

一般財団法人 黎明郷

弘前脳卒中・リハビリテーションセンター

Hirosaki Stroke and Rehabilitation Center

年報

第10号

2022.4～2023.3



一般財団法人 黎明郷 理念

質の高い医療・リハビリテーションを実践し、
地域社会の保健医療福祉に貢献します。

弘前脳卒中・リハビリテーションセンター 基本方針

- ◆地域に開かれた病院として脳卒中医療に貢献します。
- ◆活発な地域連携（病病連携・病診連携）を展開します。
- ◆最新かつ最適な医療とリハビリテーションを提供します。
- ◆チーム医療により自立への支援に努めます。
- ◆安全に配慮し、快適な入院環境作りを目指します。
- ◆最新の脳卒中医療情報を発信します。

目 次

巻頭言	院 長 鎌田 孝篤	1
施設概要・沿革		2
機構図		3
役員名簿（理事・監事）		4
評議員名簿		5
職員数		6
診療実績（入院患者数等、検査件数）		7
脳ドック・訪問リハビリ実績		9
研修認定施設		10
専門医数		11
実習受入状況		12
財団事業		13
青森県高次脳機能障害者リハビリテーション講習会		13
青森県成人・老人リハビリテーション施設協会		14
脳卒中市民公開講座		15
学術報告		16
学会発表		16
論文発表 等		20
委員会報告		21
医療安全管理委員会		21
医療器材管理委員会		26
感染対策委員会		29
栄養管理委員会		33
褥瘡対策委員会		36
臨床検査適正化委員会		39
薬事審議委員会		41
診療記録管理委員会		43
倫理委員会		46
衛生委員会		49
部署代表者委員会		52
教育研修委員会		53
施設運用委員会		54
広報委員会		56
患者サービス委員会		57
レクリエーション委員会		61
編集委員		62

巻 頭 言

弘前脳卒中・リハビリテーションセンター 院 長 鎌 田 孝 篤

弘前脳卒中・リハビリテーションセンター年報第 10 号（令和 4 年度）が発刊の運びとなりました。

令和 4 年度は新型コロナウイルス感染第 7 波、8 波に見舞われました。そのなかで令和 4 年 9 月 10 日青森県高次脳機能障害者リハビリテーション講習会が開催され『拠点機関での相談実績』（弘前脳卒中・リハビリテーションセンター、メディカルコート八戸西病院）、並びに『高次脳機能障害とともに～見えない力を引き出す「暁才」の挑戦～』（山形県高次脳機能障がい者支援センター通所教室「暁才」）の二つのご講演がありました。令和 4 年 10 月 22 日青森県成人・老人リハビリテーション施設協会研修会が開催され、弘前大学医学部附属病院リハビリテーション科藤田彩香先生による特別講演『ひと目でわかる嚥下障害のしくみと嚥下調整食の課題』と、同じく藤田先生を座長としてシンポジウム『嚥下調整食に関する取り組みについて ～現場の悩みを解決するために～』を頂きました。財団主催の脳卒中市民講座は令和 4 年 10 月 2 日、テーマ『ためになる！ 「あたらない」 ためのお話』で 3 年振りに開催されました。

弘前脳卒中・リハビリテーションセンターの令和 4 年度も救急紹介患者を断らず、脳卒中類縁疾患も広く受け入れ、回復期リハ病棟の退院調整を積極的に行なうことなどを継続しています。残念ながら病棟で新型コロナのクラスターが数回発生し、病床稼働率は一般、回復期病棟ともに落ち込んだ時期があり、病院全体の病床稼働率は 86.9%と目標達成には到りませんでした。回復期リハビリテーション病棟指数のなかでは一日一人あたりのリハ提供単位数は 6.72 と前年度を大きく上回っています。

検査・手術件数はほぼ前年度に匹敵する数値となっています。運動器リハビリテーションが 89 件とほぼ倍増しています。脳ドックはやや減少、訪問リハビリ実績は前年度より増加となっています。

新型コロナ感染蔓延のため各種研修会は感染対策の面から集合研修が出来ず、参加人数の制限やカルテ端末を利用した学習研修となっていました。レクリエーション委員会からは 3 年連続の新入職員歓迎会中止、忘年会中止の報告がありました。

新型コロナ感染症は令和 5 年 5 月に 5 類感染症となり制限が緩められました。感染は収束することなくその後も令和 5 年 9 月の 9 波、令和 6 年 1 月には 10 波とみられるピークがありました。一時期収まっていたインフルエンザも流行しています。今後社会や医療がどのように変わっていくのか予想はつきませんが、変化の始まりは令和 4 年となるかもしれません。令和 4 年度の年報は当センターの診療や情報発信の現状を示す指標であり、奮闘した職員の高貴な記録です。今後に向けて、十分に吟味し活用されることを願っております。

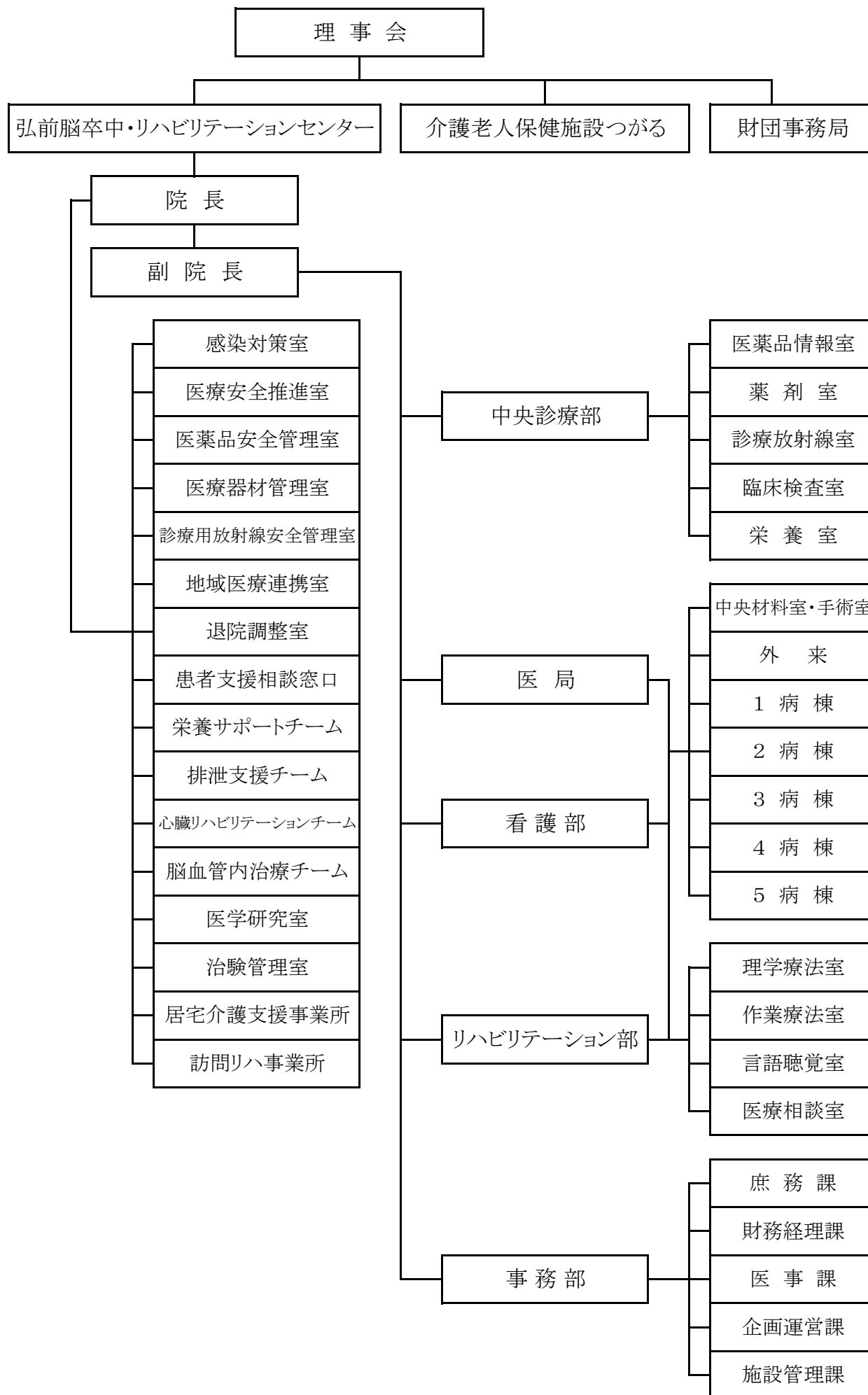
年報を担当した広報委員会の佐々木都子委員長をはじめ、各委員諸氏の労に敬意を表したいと存じます。

施設概要

年 月	内 容
平成17年 7月	弘前脳卒中センター開設（145 床） 構造/鉄筋コンクリート造り地上4階 敷地面積 19,872.80 m ² 建築延面積 11,414.94 m ² 一般病棟 35 床 回復期リハビリテーション病棟 110 床 内科、神経内科、脳神経外科、リハビリテーション科、整形外科
平成23年 4月	弘前脳卒中・リハビリテーションセンター開設（名称変更）（248 床） 構造/鉄筋コンクリート造り地上4階 敷地面積 25,828.95 m ² 建築延面積 18,579.55 m ² 一般病棟 79 床 回復期リハビリテーション病棟 169 床 内科、神経内科、脳神経外科、リハビリテーション科、整形外科、歯科
平成25年 4月	診療科目変更 脳・血管内科、循環器内科、内科、脳神経外科、リハビリテーション科、神経内科、放射線科、歯科
令和 2年 6月	診療科目変更 脳・血管内科、循環器内科、内科、脳神経外科、リハビリテーション科、整形外科、神経内科、放射線科、歯科
令和 5年 4月	診療科目変更 脳・血管内科、循環器内科、内科、脳神経外科、リハビリテーション科、整形外科、脳神経内科、放射線科、歯科

沿 革

年 月	内 容
昭和41年 4月	青森県知事より財団法人黎明郷の設立認可
昭和41年 7月	碓ヶ関村より診療所の委託を受け診療を開始（10 床）
昭和42年 4月	黎明郷リハビリテーション病院開設(60 床、昭和 57 年 7 月 248 床)
昭和60年 9月	黎明郷リハビリテーション病院に高血圧センター併設
平成15年 4月	介護老人保健施設つがるを開設（黎明郷リハビリテーション病院に併設）
平成17年 7月	弘前脳卒中センター開設（145 床）内科・神経内科・脳神経外科・リハビリテーション科・整形外科
平成17年 7月	弘前脳卒中センター開設に伴い黎明郷リハビリテーション病院（103 床）となる
平成23年 4月	弘前脳卒中センターと黎明郷リハビリテーション病院を統合し、弘前脳卒中・リハビリテーションセンターを開設(248 床) 開設に伴い黎明郷リハビリテーション病院は閉院 碓ヶ関診療所(無床)を開設
平成24年 3月	碓ヶ関診療所閉所
平成25年 4月	財団法人から一般財団法人へ移行



役員名簿

令和5年3月31日現在

氏 名	所属・職名 等
保嶋 実 (顧問)	一般財団法人 黎明郷 前 理事長
高梨 信吾 (理事)	一般財団法人 黎明郷 理事長
奥村 謙 (理事)	済生会 熊本病院心臓血管センター 循環器内科 不整脈先端治療部門最高技術顧問
富田 泰史 (理事)	弘前大学大学院医学研究科 循環器腎臓内科学講座 臨床検査医学講座 教授
花田 信之 (理事)	弘前大学大学院医学研究科 救急・災害医学講座 教授
佐々木 真吾 (理事)	弘前大学大学院医学研究科 循環器腎臓内科学講座 准教授
玉田 友一 (理事)	玉田内科医院 院長
長尾 忠行 (理事)	平川市長
山田 年伸 (理事)	大鰐町長
鹿内 勲 (理事)	(株)青森銀行 常務取締役弘前地区営業本部長
佐藤 陽子 (理事)	元 青森県環境生活部長
鎌田 孝篤 (理事)	一般財団法人 黎明郷 弘前脳卒中・リハビリテーションセンター 病院長
小林 正志 (理事)	一般財団法人 黎明郷 前 事務局長
一戸 治 (監事)	一戸治税理士事務所
山中 一彦 (監事)	(株)青森銀行 執行役員 弘前支店長

評議員名簿

令和5年3月31日現在

氏 名	所属・職名 等
吉岡 利忠	医療法人 三良会 村上新町病院 院長
込山 稔	社会福祉法人 藤聖母園 理事
梅村 芳文	医療法人 芳真会 梅村医院 院長
畑山 亨	畑山医院 院長
葛西 聡	あすなろ法律事務所 弁護士
奈良岡 勇造	元 青森県生活環境部 理事
村田 大六	豊田地区町会連合会 会長
横山 篤	一般財団法人 黎明郷 介護老人保健施設つがる 施設長
萩井 譲士	一般財団法人 黎明郷 弘前脳卒中・リハビリテーションセンター 副院長
内沢 隆充	一般財団法人 黎明郷 弘前脳卒中・リハビリテーションセンター 副院長
清野 聡	一般財団法人 黎明郷 弘前脳卒中・リハビリテーションセンター 副院長
樋口 三枝子	一般財団法人 黎明郷 弘前脳卒中・リハビリテーションセンター 看護部長 一般財団法人 黎明郷 介護老人保健施設つがる 看護部長

職員数

※過去3年分について掲載

職 種	令和2年度	令和3年度	令和4年度
医 師	19	18	19
薬剤師	9	10	10
診療放射線技師	8	8	7
臨床検査技師	8	7	8
理学療法士	66	73	73
作業療法士	64	71	72
言語聴覚士	8	11	8
医療相談員	10	10	11
医療部助手	1	1	2
管理栄養士	4	5	5
看護師	153	165	167
准看護師	25	20	17
看護助手	26	47	44
歯科衛生士	2	2	2
介護支援専門員	2	2	2
事務員	42	45	45
合 計	447	495	492

各年度4月1日現在

診療実績 入院患者数

※過去3年分について掲載

		令和2年度	令和3年度	令和4年度
延患者数（人）		81,657	83,002	78,658
病床数		248	248	248
病床稼働率（％）		90.2	91.7	86.9
一日平均患者数（日）	一般病棟	64	63	61
	回復期病棟	157	162	152
平均在院日数（日）	一般病棟	18.2	18.4	19.5
	回復期病棟	82.8	82.3	83.4
新患受入件数（件）	a. 救急車	535	584	562
		(26.6%)	(28.3%)	(29.9%)
	b. 直接来院	1,476	1,481	1,318
		(73.4%)	(71.7%)	(70.1%)
※ c. 救急車受入のうち入院（件）		428	447	408
(c / a)		(80%)	(76.5%)	(72.6%)
一般病棟指標				
在宅復帰率		85.4%	83.2%	78.5%
医療・看護必要度 重症者割合		21.8%	31.0%	21.6%
回復期リハビリテーション病棟指標				
在宅復帰率		86.7%	83.6%	80.8%
新規入棟患者重症者割合〔A項目〕		—（※）	—（※）	—（※）
新規入棟患者重症者割合〔B項目〕		49.3%	54.2%	55.0%
重症患者回復割合（退棟時）		60.8%	48.2%	55.3%
回復期病棟延患者数（人）		57,859	59,574	56,153
実施リハ単位数		362,417	380,364	377,776
一日一人当たりリハ提供単位数		6.26	6.38	6.72

診療実績 検査・手術件数

※過去3年分について掲載

		令和2年度	令和3年度	令和4年度
MR I		4,018	4,058	3,587
C T		3,903	3,713	3,331
単純C T撮影		3,610	3,645	3,101
超音波	頰動脈	1,294	2,689	1,214
	心臓	1,081	1,059	950
	経食道心臓	140	167	113
	その他	106	119	6
	合計	2,621	4,034	2,283
A B I（脈波）		879	876	806
ホルター心電図		962	989	869
血管造影	脳血管造影	22	19	25
	頭頸部血管造影	—	—	4
	大動脈造影	—	1	—
	心臓カテーテル検査	14	—	13
	下肢血管造影	1	1	2
	合計	37	21	44
透視下検査	嚥下造影	46	52	42
	上部消化管造影	—	—	—
	透視のみ	2	—	11
	合計	48	52	53
内視鏡	内視鏡下胃瘻造設術	—	—	—
	胃瘻交換	7	1	—
	胃・十二指腸ファイバースコピー	3	1	—
	食道ファイバースコピー	—	1	1
	合計	10	3	1
血栓溶解療法（t-P A）		22	25	18
頰動脈ステント留置術		9	11	12
経皮的脳血管形成術		—	2	2
経皮的脳血栓回収術		3	10	11
ペースメーカー移植・交換術		5	4	3
気管切開術		2	1	2
運動器リハビリテーション		31	46	89
心大血管疾患リハビリテーション		21	12	9
脳血管疾患リハビリテーション		1,281	1,332	1,214

脳ドック実績

単位:件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和2年度	0	0	7	17	18	21	22	16	15	11	1	13	141
令和3年度	0	5	3	20	15	20	26	29	24	20	6	6	174
令和4年度	3	2	7	13	21	14	20	24	21	17	10	0	152

※過去3年分について掲載

訪問リハビリ実績

単位:件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和2年度	201	171	220	242	212	224	233	221	205	189	189	227	2,534
令和3年度	206	188	213	209	198	197	219	233	209	209	207	233	2,521
令和4年度	233	219	256	236	226	227	206	209	209	198	196	234	2,649

※過去3年分について掲載

研修認定施設等

	認 定 学 会	認 定 期 間
1	日本脳卒中学会 一次脳卒中センター認定	2019. 9. 1～2021. 3. 31 2021. 4. 1～2022. 3. 31 2022. 4. 1～2023. 3. 31 2023. 4. 1～2024. 3. 31
2	日本脳卒中学会専門医認定制度 研修教育施設	2013. 4. 1～2014. 12. 31 2015. 1. 1～2016. 12. 31 2017. 1. 1～2020. 3. 31 2020. 4. 1～2021. 3. 31 2021. 4. 1～2022. 3. 31 2022. 4. 1～2023. 3. 31 2023. 4. 1～2024. 3. 31
3	日本リハビリテーション医学会認定研修施設	2012. 4. 1～2017. 3. 31 2017. 4. 1～2022. 3. 31 2022. 4. 1～2027. 3. 31
4	日本臨床栄養代謝学会（旧日本静脈経腸栄養学会） NST稼働認定施設	2014. 4. 1～2019. 3. 31 2019. 4. 1～2024. 3. 31
5	日本高血圧学会専門医認定施設	2012. 4. 1～2017. 3. 31 2017. 4. 1～2022. 3. 31 2022. 4. 1～2024. 3. 31
6	日本循環器学会認定循環器専門医研修関連施設	2013. 4. 1～2015. 3. 31 2015. 4. 1～2017. 3. 31 2017. 4. 1～2019. 3. 31 2019. 4. 1～2021. 3. 31 2021. 4. 1～2023. 3. 31 2023. 4. 1～2025. 3. 31

専門医数

単位：人

資 格	計
日本呼吸器学会呼吸器専門医	1
日本アレルギー学会専門医	1
日本循環器学会認定循環器専門医	4
日本内科学会総合内科専門医	6
日本脳卒中学会認定脳卒中専門医	6
日本脳神経外科学会認定脳神経外科専門医	2
日本脳神経血管内治療学会認定専門医	1
日本リハビリテーション医学会リハビリテーション科専門医	2
合 計	23

令和5年3月31日現在

※合計は延べ人数

実習受入状況

※過去3か年分について掲載

令和2年度	医局	薬剤室	看護部	リハビリテーション部				栄養室	事務	全体
				P T	O T	S T	MSW			
延件数 (単位:件)	4	4	8	12	11	5	2	2	1	49
延人数 (単位:人)	179	212	1107	223	297	128	46	35	12	2239

令和3年度	医局	薬剤室	看護部	リハビリテーション部				栄養室	事務	全体
				P T	O T	S T	MSW			
延件数 (単位:件)	5	2	11	12	14	6	4	2	1	55
延人数 (単位:人)	477	106	937	356	565	248	63	50	10	2706

令和4年度	医局	看護部	リハビリテーション部				栄養室	事務	全体
			P T	O T	S T	MSW			
延件数 (単位:件)	3	10	11	12	5	1	1	2	45
延人数 (単位:人)	390	682	278	752	183	46	10	16	2357

財団事業(青森県委託事業)
 青森県高次脳機能障害支援拠点機関
 令和4年度事業活動報告

1. 青森県高次脳機能障害者リハビリテーション講習会

開催日時：令和4年9月10日（土）14：00～16：00

開催場所：アウガ 5階 男女参画プラザ カダール AV 多機能ホール

参加者：52名 ※他、WEB 視聴申込87名

講習会

『拠点機関での相談実績』

弘前脳卒中・リハビリテーションセンター 支援コーディネーター 土岐 敏子

メディカルコート八戸西病院 支援コーディネーター 田畠 真穂

『高次脳機能障害とともに～見えない力を引き出す「暁才」の挑戦～』

山形県高次脳機能障がい者支援センター通所教室「暁才」

指導員 菊地 千佳先生

指導員 鬼塚 千津先生

※拠点機関支援コーディネーターによる医療福祉相談を同時開催

2. 青森県高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業検討委員会

開催日時：令和4年7月26日（火）17：30～

開催場所：ウェディングプラザアラスカ B1階 サファイアの間

出席者：12名

案件

1. 令和3年度事業報告について

2. 令和4年度事業計画について

3. 相談件数

相談件数	相談者		
	本人	家族	その他
	35	20	24
就労支援	4	3	2
診断・治療	7	5	16
支援体制・家族会	1	4	2
その他	23	8	4

財団事業(事務局)
青森県成人・老人リハビリテーション施設協会
令和4年度事業活動報告

青森県成人・老人リハビリテーション施設協会研修会

開催日時：令和4年10月22日(土) 14:45～16:00

開催場所：ウェディングプラザアラスカ 4階 ダイヤモンド

参加者：40名 ※他、WEB視聴申込 108名

特別講演

座長：弘前脳卒中・リハビリテーションセンター

リハビリテーション科部長 岩田 学 先生

『ひと目でわかる嚥下障害のしくみと嚥下調整食の課題』

講師：弘前大学医学部附属病院リハビリテーション科

助手 藤田 彩香 先生

シンポジウム

座長：弘前大学医学部附属病院リハビリテーション科

助手 藤田 彩香 先生

『嚥下調整食に関する取り組みについて ～現場の悩みを解決するために～』

シンポジスト：

弘前大学医学部附属病院

脳卒中リハビリテーション看護認定看護師 福岡 幸子 先生

鳴海病院 リハビリテーション科 技師長 櫻田 孝太 先生

津軽保健生活協同組合健生病院 管理栄養士 佐藤 真里子 先生

財団事業(主催)
脳卒中市民公開講座
令和4年度事業活動報告

「脳卒中市民公開講座2022」

開催日時：令和4年10月2日（日）14：00～16：00

開催場所：弘前市民文化交流館 大ホール（ヒロロ4階）

参加者：64名

テーマ『ためになる！「あたらない」ためのお話し』

1. 講演

講演1

『お薬は勝手にやめずに相談を』

弘前脳卒中・リハビリテーションセンター
薬剤師長 鳥谷部 翔 先生

講演2

『脳梗塞ってどんな病気？』

弘前脳卒中・リハビリテーションセンター
内科副部長 白戸 弘志 先生

講演3

『MRIの白質病変とは』

弘前脳卒中・リハビリテーションセンター
副院長（脳神経外科部長）内沢 隆充 先生

2. パネルディスカッション

3. その他

- ・病院スタッフによる相談コーナー、脳卒中疑似体験コーナー等の設置

学会・研究発表（計55題）

年 月 日	学会・研究会名	発 表 演 題	発 表 者
令和4年4月23日	第9回日本心血管脳卒中学会学術集会（web開催）	脳血管造影と冠動脈造影を同時に実施した頸動脈狭窄症連続74症例78病変の検討	齋藤 新 他
令和4年5月21日	高血圧市民公開講座 （武田工業薬品） （平川市）	高血圧症と脳卒中	萩井 譲士
令和4年5月21日	高血圧市民公開講座 （武田工業薬品） （平川市）	減塩の大切さを確認しましょう	佐々木 都子
令和4年5月27日	第7回青森県急性期脳梗塞血管内治療ネットワーク（A-NET）研究会 （第一三共）（web開催）	弘前地区における当院の役割と取り組み	齋藤 新
令和4年6月4日	第174回日本循環器学会東北地方会（web開催）	PRAETORIAN scoreを用いて術直後にS-ICD植込み位置の最適性を予見できるか：術後臥位像と従来法の比較検討	山崎 堅 他
令和4年6月18日 ～6月19日	第10回臨床高血圧フォーラム（札幌市）	青森県津軽地方における高血圧症合併脳卒中患者の年齢分布からみた介入課題	白戸 弘志 他
令和4年6月19日	第46回青森県理学療法士学会（web開催）	前頭葉内側領域の損傷により歩行障害を呈した症例 ～ウォークエイドを使用し、歩行再建を図る～	安藤 勇太 他
令和4年6月19日	第46回青森県理学療法士学会（web開催）	右橋腹側梗塞により左片麻痺を呈した脳卒中一症例 ～部分免荷装置を用いた床上歩行練習と歩行神経筋電気刺激装置の併用～	三上 菜月 他
令和4年6月19日	第46回青森県理学療法士学会（web開催）	脳出血患者に対する遷延性意識障害の改善を目的とした立位歩行練習の治療経験 ～長下肢装具と免荷トレーニング機器を用いて～	福士 佳那子 他
令和4年6月19日	一般社団法人青森県作業療法士会 2022年度現職者研修会 （web開催）	作業療法における協業・後輩育成	算用子 暁美
令和4年6月24日 ～6月25日	第59回日本リハビリテーション医学会学術集会（横浜市）	対側脳卒中再発後におけるリハビリテーション後の予後の検討	中村 太源
令和4年6月25日 ～6月26日	日本病院薬剤師会東北ブロック第11回学術大会（山形市）	回復期リハ病棟と老健施設を兼務してみえた薬剤師の役割	倉内 寿孝
令和4年7月1日 ～7月31日	第32回東北作業療法学会（web開催）	脳卒中片麻痺患者に修正CI療法と行動日記を有効に活用した一症例	対馬 大樹 他
令和4年7月1日 ～7月31日	第32回東北作業療法学会（web開催）	作業選択意思決定ソフト（ADOC）を使用して生活行為の目標と現状の課題を共有し、自宅退院に至った脳卒中片麻痺患者の一症例	西澤 清貴

年 月 日	学会・研究会名	発 表 演 題	発 表 者
令和4年7月1日 ～7月31日	第32回東北作業療法学会 (web開催)	非利き手での箸操作の獲得を目指した介入 ～箸の把持フォームを操作中に保つことに着目 して～	赤平 一樹 他
令和4年7月1日 ～7月31日	第32回東北作業療法学会 (web開催)	脳卒中重度片麻痺患者のトイレ動作における下 衣操作時の注意機能に着目して介入した一例	畑中 魁 他
令和4年7月1日 ～7月31日	第32回東北作業療法学会 (web開催)	脳卒中重度上肢麻痺患者に対して修正CI療法を 含む複合的アプローチを実施し、麻痺手での茶 碗把持の獲得に至った一症例	齋藤 壘 他
令和4年7月1日 ～7月31日	第32回東北作業療法学会 (web開催)	頭部外傷後に注意機能低下を呈した患者に対し て病前の趣味活動を用いて介入し、食事動作の 介助量が軽減した一症例	森 駿 他
令和4年7月1日 ～7月31日	第32回東北作業療法学会 (web開催)	洗濯動作獲得による意欲の向上をきっかけに家 事動作全般の獲得に繋がった事例 ～MTDLPに よるアセスメントを通して関わりの明確化がで きた事例～	馬道 夏奈 他
令和4年7月1日 ～7月31日	第32回東北作業療法学会 (web開催)	食事を手づかみで食べようとする脳卒中片麻痺 患者に対し、統一した食事環境で介入した一例	小田桐 紅葉 他
令和4年7月2日	青森県理学療法士会津軽 支部 令和4年度責任者会議 (web開催)	新生涯プログラムの概要説明	佐藤 翔
令和4年7月3日	一般社団法人青森県作業 療法士会 地域リハビリテーション 研修会 ～対象者の地域 生活への支援～ (web開催)	地域リハビリテーション研修会 ～対象者の地域生活への支援～	金谷 圭子
令和4年7月7日	一般社団法人青森県作業 療法士会 2022年度臨床研修会 (web開催)	事例紹介と討論①	金谷 圭子
令和4年7月16日 ～7月31日	第5回日本病院薬剤師会 Future Pharmacist Forum (web開催)	腎機能から見た薬物療法継続の見極めと対策、 高齢者の適正使用	鳥谷部 翔
令和4年7月24日	一般社団法人青森県作業 療法士会 2022年度現職者研修会 (web開催)	生活行為向上マネジメント基礎研修①	今井 寛人
令和4年8月6日 ～8月7日	第3回日本脳神経内科血管 治療研究会学術集会 (web開催)	脳血管造影と冠動脈造影を同時に実施した頸動 脈狭窄症連続75症例80病変の検討	齋藤 新 他
令和4年9月10日 ～9月11日	第40回東北理学療法学会 大会 (web開催)	介護予防活動時の身体活動量の差	宮木 詩織
令和4年9月10日 ～9月11日	第40回東北理学療法学会 大会 (web開催)	脳卒中患者への教示内容の違いが立ち上がり動 作に及ぼす影響に関する検討	小田桐 伶 他

年 月 日	学会・研究会名	発 表 演 題	発 表 者
令和4年9月16日 ～9月18日	第56回日本作業療法学会 (web開催)	脳卒中により手指重度麻痺を呈した患者に対して上肢装具使用にて修正CI療法を実施した一例	三宅 保志 他
令和4年9月16日 ～9月18日	第56回日本作業療法学会 (web開催)	回復期脳卒中上肢麻痺に対するReoGo-Jの併用効果の検討	木村 真理恵 他
令和4年9月16日 ～9月18日	第56回日本作業療法学会 (web開催)	脳卒中後回復期において修正CI療法を実施し、退院後半年にわたり麻痺手の使用行動の改善がみとめられた一症例	目黒 佑樹 他
令和4年9月16日 ～9月18日	第56回日本作業療法学会 (web開催)	脳卒中上肢麻痺に対するReoGo-J併用効果に関連する要因の検討	渡部 清寛 他
令和4年9月17日 ～9月18日	一般社団法人青森県理学療法士会 厚生労働省指定臨床実習指導者講習会 (web開催)	・臨床実習指導者講習会の開催の背景ならびに目的 ・世話人の役割およびグループワークの展開法	中村 学人
令和4年9月30日 ～10月1日	リハビリテーション・ケア合同研究大会 苫小牧2022 (苫小牧市)	当院におけるリハビリテーション中のインシデントの傾向と要因	今井 寛人 他
令和4年10月1日	第59回青森臨床循環器研究会 (バイエル薬品) (青森市)	直接作用型第Xa因子阻害剤中和薬の使用経験	和島 将太
令和4年10月15日 ～10月16日	第20回日本神経理学療法学会学術大会 (大阪市)	対象者への教示内容の違いが立ち上がり動作に及ぼす影響に関する研究	小田桐 伶 他
令和4年10月15日 ～10月16日	第20回日本神経理学療法学会学術大会 (大阪市)	脳卒中患者における予測的姿勢制御に関連する評価指標の活用性に関する検討	齋藤 祐希 他
令和4年10月15日 ～10月16日	第20回日本神経理学療法学会学術大会 (大阪市)	仮想空間における後進歩行速度の知覚	田口 惇 他
令和4年10月21日	一般社団法人青森県作業療法士会 在宅酸素療法セミナー (帝人ヘルスケア) (弘前市)	在宅酸素療法の基礎知識	高梨 信吾
令和4年10月24日	新しい高血圧治療戦略を考える ～エンレスト高血圧症適応追加1周年記念～ (大塚製薬) (弘前市)	脳卒中を予防するための血圧管理	萩井 譲士
令和4年10月28日 ～10月29日	第65回日本脳循環代謝学会学術集会 (甲府市)	頭部単純CT画像による脳血液量 (CBV) の観察	内沢 隆充
令和4年11月4日 ～11月6日	第6回日本リハビリテーション医学会秋季学術総会 (岡山市)	意識障害が遷延する重症くも膜下出血症例の予後とリハビリテーション治療の意義	松田 尚也 他
令和4年11月10日 ～11月12日	第38回NP0法人日本脳神経血管内治療学会学術集会 (web開催)	脳血管造影と冠動脈造影を同時に実施した頸動脈狭窄症連続75症例80病変の検討	齋藤 新 他

年 月 日	学会・研究会名	発 表 演 題	発 表 者
令和4年12月3日	第175回日本循環器学会東北地方会（仙台市）	僧帽弁に陥頓する巨大左房粘液腫に対して緊急手術を施行した一例	須藤 芽維 他
令和4年12月14日	一般社団法人青森県臨床工学技士会 医療・リハビリニーズ勉強会（青森市）	作業療法士によるリハビリ現場ニーズ	金谷 圭子
令和5年1月5日	一般社団法人青森県作業療法士会 2022年度臨床研修会（web開催）	事例紹介と討論①	金谷 圭子
令和5年1月22日	一般社団法人青森県作業療法士会 2022年度現職者研修会（web開催）	生活行為向上マネジメント基礎研修②	今井 寛人
令和5年2月17日	脳卒中後てんかんについて考える WEB講演会in弘前（エーザイ） （web開催）	当院における脳卒中後てんかんの現状	齋藤 新
令和5年2月24日 ～2月25日	回復期リハビリテーション病棟協会 第41回研究大会in岡山（岡山市）	当院における更生用装具作製の傾向	山本 賢雅 他
令和5年2月24日 ～2月25日	回復期リハビリテーション病棟協会 第41回研究大会in岡山（岡山市）	右上肢の重度運動麻痺を呈した全盲患者に対する、非利き手での食事動作における食べこぼしの減少を目的とした介入	奈良岡 碧 他
令和5年2月24日 ～2月25日	回復期リハビリテーション病棟協会 第41回研究大会in岡山（岡山市）	COVID-19罹患後廃用症候群を呈した症例に対するチームアプローチで排泄自立に至った1例	福井 美音 他
令和5年2月28日	心臓弁膜症 Up to Date セミナーin弘前（エドワーズライフサイエンス） （弘前市）	脳卒中と心疾患の合併を考える	齋藤 新
令和5年3月16日 ～3月18日	STROKE2023 第48回日本脳卒中学会学術集会（横浜市）	青森県津軽地方の脳卒中患者における世代別にみた発症前血圧管理の現状と課題	白戸 弘志 他
令和5年3月16日 ～3月18日	STROKE2023 第48回日本脳卒中学会学術集会（横浜市）	脳血管造影と冠動脈造影を同時に実施した頸動脈狭窄症連続75症例の検討	齋藤 新 他
令和5年3月28日	Scientific Exchange Meeting Experience Sharing（アストラゼネカ） （web開催）	アンデキサネット アルファを必要とする脳出血とは ～内科医の立場から～	齋藤 新

論文掲載（計5題）

年 月	雑 誌 名	発 表 演 題	発 表 者
令和4月7月	Journal of Physical Therapy Science Vol.34 (10) (P.668-672)	Changes in cerebral blood flow before, during, and after forward and backward walking in stroke patients trained using virtual reality walking videos with deliberately induced inaccuracies in walking speed estimations	田口 惇 高見 彰淑 他
令和5年1月	Journal of Stroke Vol.32 (1) DOI : https://doi.org/10.1016/j.jstrokecerebrovasdis.2022.106893	The effects of combined early oral health care and early mobilisation on the incidence of stroke-associated pneumonia	藤田 彩香 岩田 学 萩井 讓士 目時 典文 白戸 弘志 津田 英一
令和5年1-2月	in vivo Vol.37(1) (P.336-344)	Low Creatinine clearance is a risk factor for severe cardioembolic stroke in Japanese female patients	酒井 峻太郎 萩井 讓士 鹿内 駿 反町 悠也 濱浦 奨悟 山崎 堅 山田 奈津美 白戸 弘志 齋藤 新 鎌田 孝篤 高梨 信吾 奥村 謙 富田 泰史 他
令和5年2月	急性期脳梗塞に対する 血管内治療 (P.165-171)	1章＜治療方針・手技編＞ 22 全身塞栓症	吉村 紳一 齋藤 新 他
令和5年3月	弘前医学 Vol.73 (1-4) (P.1-9)	救急搬入患者の脳卒中診断鑑別における神経症状の訴えと初診時バイタルサインの有用性	白戸 弘志 萩井 讓士 目時 典文 齋藤 新 佐々木 都子 高橋 広希 人見 博康 馬場 佳子 山田 奈津美 清野 聡 内沢 隆充 中村 太源 岩田 学 鎌田 孝篤 高梨 信吾 富田 泰史

医療安全管理委員会

1. 活動目的

本委員会は、一般財団法人黎明郷 弘前脳卒中・リハビリテーションセンターにおける医療安全管理体制を確立し、医療安全管理のための具体的方策及び医療事故発生時の対応方法について、指針を示すことにより、適切な医療安全管理を実践し、患者様へ安全な医療を提供することを目的とする。

2. 構成員 ※令和4年4月1日現在

医療安全管理委員会

委員長 鎌田 孝篤 (病院長)
副委員長 樋口 三枝子 (看護部長)
藤田 尚子 (医薬品情報室副室長) ※
メンバー 萩井 譲士 (副院長・医療安全推進室室長) ※
岩田 学 (医局長・副院長代行) ※
佐々木 都子 (内科部長・リハビリテーション部部長)
算用子 暁美 (リハビリテーション部技師長)
野沢 正人 (事務部長)
立林 修 (事務部次長・庶務課長代行兼務)
工藤 正弘 (看護師長・医療安全推進室副室長) ◆
鳥谷部 翔 (医薬品安全管理責任者：7月1日～追加メンバー)

※医療安全推進室 (兼務)

◆専従医療安全管理者

3. 委員会等開催記録

医療安全管理委員会

回	開催日	内 容
1	令和4年4月20日	3月分医療事故報告書まとめ・院内巡視報告 転倒転落ワーキングから 医薬品副作用などの報告 (1件) 令和3年度1年間のインシデント・アクシデント報告
2	令和4年5月18日	医療事故報告書まとめ・院内巡視報告 4月分インシデント・アクシデント報告 転倒転落ワーキングから 医薬品副作用などの報告 (2件) 全職員対象令和4年度医療安全研修会について 令和3年度医療安全業務改善報告、令和4年度医療安全業務改善計画書について
3	令和4年6月15日	医療事故報告書まとめ・院内巡視報告 5月分インシデント・アクシデント報告 転倒転落ワーキングから 医薬品副作用などの報告 (3月1件・4月6件・5月33件)

		5月から報告件数が増加したのは報告基準を変更した為で、実際に副作用等が増加した訳ではない。
4	令和 4 年 7 月 20 日	医療事故報告書まとめ・院内巡視報告 6 月分インシデント・アクシデント報告 医薬品副作用などの報告（16 件） 「医薬品の安全使用の為の業務手順書」の改定案について →令和 4 年 7 月 20 日の医療安全管理委員会にて医薬品安全管理責任者が藤田から鳥谷部に変更で承認。 全職員対象令和 4 年度医療安全研修会 6 月 27 日より開始報告
5	令和 4 年 8 月 18 日	医療事故報告書まとめ・院内巡視報告 7 月分インシデント・アクシデント報告 医薬品副作用などの報告（21 件） 医薬品管理責任者の変更に伴い、副委員長が藤田から鳥谷部に変更となった。 第 1 回医療安全・医薬品安全管理研修会 まとめ・参加集計
6	令和 4 年 9 月 15 日	医療事故報告書まとめ・院内巡視報告 8 月分インシデント・アクシデント報告 転倒転落ワーキングから、赤外線センサーやソニックセンサーのスイッチが入っているかだけでなく、センサーが反応するのかの動作確認もしてから退室するよう指導した。 医薬品副作用などの報告（28 件） 経鼻胃管の交換時期について萩井医師より 新しく採用したクリナーマーゲンゾンデの使用期間は 30 日以内となっていたが、今まで 2 週間毎の交換に実施する事になっていた経鼻胃管の交換時期を見直しマニュアル訂正する必要がある。マニュアルの「経鼻胃管交換は 2 週間毎に実施する」の一文を「経鼻胃管交換は、各メーカーの製品で交換時期が異なる為、使用する経鼻胃管の取扱説明書に合わせ交換とする」に変更する。 マイスリーとマイスタンとの販売名類似による取り違い注意のお願いについて（鳥谷部薬剤師長より）
7	令和 4 年 10 月 20 日	医療事故報告書まとめ・院内巡視報告 9 月分インシデント・アクシデント報告 医薬品副作用などの報告（13 件） 医療安全相互点検板柳病院訪問が 11 月 25 日で決定。健生病院との相互点検日程は今後調整する。
8	令和 4 年 11 月 17 日	医療事故報告書まとめ・院内巡視報告 10 月分インシデント・アクシデント報告 医薬品副作用などの報告（25 件） 11 月 25 日板柳病院での相互点検であったが、貴院でコロナ陽性患者及び職員のコロナ陽性者が拡大し、検討した結果今年度の板柳病院での相互点検は紙上で行う事となった。

		当院が健生病院の医療安全相互点検を受ける日程として12月2日（金）と決定。当院が健生へ訪問して行う相互点検は12月23日（金）と決定した。
9	令和4年12月15日	医療事故報告書まとめ・院内巡視報告 11月分インシデント・アクシデント報告 医薬品副作用などの報告（13件） 令和4年度医療安全相互点検健生病院の受けた点検が12月3日（金）に行われた。結果次回委員会で報告予定。
10	令和5年1月19日	医療事故報告書まとめ・院内巡視報告 12月分インシデント・アクシデント報告 医薬品副作用などの報告（13件） 令和4年度第2回医療安全研修会開催について説明 期間は2月13日（月）～3月3日（金）予定。 令和4年度医療安全相互点検健生病院の点検を受けての報告
11	令和5年2月15日	医療事故報告書まとめ・院内巡視報告 1月分インシデント・アクシデント報告 転倒転落ワーキングより、毎月第2月曜日16時より開催していたが、看護部で各病棟に時短勤務者（15時15分まで）がいる為、16時だと病棟が手薄となり参加させるのが困難であった。その為、時間検討し3月より16時から14時30分へ開催時間を変更とした。 医薬品副作用などの報告（20件） 令和4年度第2回医療安全研修会開始2月13日～2月28日（延長3月3日まで）
10	令和5年3月15日	医療事故報告書まとめ・院内巡視報告 2月分インシデント・アクシデント報告 医薬品副作用などの報告（41件） 令和4年度第2回医療安全研修会結果報告

医療安全研修会

	開催日	内 容
第1回	令和4年6月27日～7月24日	医療安全：インシデントデータから自己の行動を振り返ろう ～インシデント・アクシデントを起こさない職場（環境）づくりを目指して～ 医薬品安全管理：くすりとリスク2022 ～リスクコミュニケーションと正しい確認～ 医療安全ガス：医療酸素ガスの取り扱いについて コロナ感染拡大防止の為、電子カルテによる学習研修会
第2回	令和5年2月13日～3月3日	医療安全：インシデントレポートシステムと記載時の注意点 インフル感染拡大防止の為電子カルテによる学習研修会

院内巡視

開催日	場所	内容
令和 4 年 4 月 21 日	1 病棟	与薬・注射ミキシングの手順 患者誤認 環境
令和 4 年 5 月 19 日	2 病棟	与薬・注射ミキシングの手順 患者誤認 環境
令和 4 年 6 月 16 日	3 病棟	与薬の手順 患者誤認 作業環境の整理・整頓
令和 4 年 7 月 21 日	4 病棟	与薬の手順 患者誤認 作業環境の整理・整頓
令和 4 年 8 月 18 日	5 病棟	与薬の手順 患者誤認 作業環境の整理・整頓
令和 4 年 9 月 15 日	外来・正面玄関	患者誤認防止対策 外来患者と他者との区分通路
令和 4 年 10 月 20 日	臨床検査室	作業環境の整備 マニュアルの整備 患者誤認
令和 4 年 11 月 17 日	診療放射線室	作業環境の整備 マニュアルの整備 機器の安全確認
令和 4 年 12 月 15 日	栄養室・厨房	安全・感染に配慮した整理・整頓・清潔 患者誤認
令和 5 年 1 月 19 日	リハビリ室	患者の動線確保と安全性の配慮 心リハ急変対応
令和 5 年 2 月 16 日	薬剤室	効率的な作業環境と整理・整備
令和 5 年 3 月 16 日	事務室・SPD	整理・整頓 患者誤認防止対策

4. 活動要約

- ・インシデント・アクシデント事例の分析・再発防止の検討
- ・医療安全管理に関する全般事項の調査・報告・審議
- ・医療事故防止のための提言
- ・医薬品副作用の報告
- ・インシデント・アクシデントレポートの収集

インシデント・アクシデント事例を分析し、結果を現場へフィードバックする。

- ・院内ラウンド

定期的な院内ラウンドにより安全な作業環境、ルール・マニュアル遵守状況の把握をする。

- ・医療安全対策地域連携相互点検

医療安全対策の現状について連携する病院間で意見交換及び評価することで、医療安全対策の標準化・質向上を図る。

令和 4 年度は、マッチング施設である健生病院と板柳中央病院へ相互の施設間訪問を予定していたが、板柳中央病院で患者、職員からコロナ陽性者が発生したため、板柳中央病院とは紙上開催となった。

健生病院との相互点検は、当院受入れが 12 月 2 日（金）、健生病院への訪問は 12 月 23 日（金）として、予定通り点検を実施した。

- ・医療安全研修会（年 2 回開催）

●第 1 回 医療安全・第 1 回医薬品安全管理研修会・第 1 回医療ガス研修会

6 月 27 日～7 月 24 日参加率：96.9%（456 名参加予定者／442 名の参加）

第 1 回医療安全：インシデントデータから自己の行動を振り返ろう～インシデント・アクシデントを、起こさない職場（環境）づくりを目指して～

第 1 回医薬品安全管：「くすりとリスク 2022」～リスクコミュニケーションと正しい確認～

第 1 回医療ガス：医療有酸素ガスの取り扱いについて

今年も前年に引き続き、新型コロナ感染蔓延が持続しており、感染対策の面から集合研修の形が出来ず、学習研修の形となった。

●第 2 回 医療安全研修会：インシデントレポートシステムと記載時の注意点

令和 5 年 2 月 13 日～2 月 28 日 参加率：91.5%（458 名参加予定者／419 名参加）

令和 4 年度まとめ

インシデント・アクシデントを昨年度と今年度を比較し 603 件から 558 件へと減少した。しかし、アクシデントは、令和 3 年度の 5 件から 7 件へ増加した。その 7 件の内 5 件が転倒転落、その他には、更衣介助中の骨折（他 1 件急性硬膜下血腫、1 件窒息）事例であった。このことから、看護助手にも更衣実技研修が必要と思われる。患者誤認は、令和 3 年度の 9 件から令和 4 年度は 11 件へ増加した。与薬・注射に関する患者誤認は、年々減少しており館内放送を取入れ頻回に注意喚起してきた結果、患者から名乗って頂く意識が患者協力のもと定着してきた為と考えられる。今後も更なる意識向上と習慣化の徹底化を図っていく。しかし、思い込み、未確認、確認不足による間違いや忘れは一年を通し見られているため、更なる注意喚起に努めていく。また、令和 4 年度は BS チェック忘れ 4 件、採血取り忘れ 4 件、与薬忘れ 22 件、注射忘れ 6 件と前年度より減少している為、引き続きマニュアルを遵守し確認を徹底していき、更に令和 5 年度は、インシデントをもとに各部署のラウンドを強化し安全面での 5S 活動を実施したいと考える。また、転倒転落や経鼻胃管自己抜去における事例が多く、KYT を意識した対策を講じていないケースが多いため、危険を予測した対応を啓蒙しながらインシデント防止に繋げたい。

今年度の報告書分析から、次年度は全カテゴリーが減少するよう医療安全として現場にも足を運び現状を確認しながら直接的指導や注意喚起にも力を注いでいきたいと考える。

医療器材管理委員会

1. 活動目的

本委員会は、弘前脳卒中・リハビリテーションセンターにおける診療材料及び診療に必要な医療機器（以下「医療材料等」という。）の安全採用、死蔵化の防止、その他使用の効率化及び医療材料等の試用に関する事項を審議し、病院運営の健全化を図ることを目的とする。

2. 構成員 ※令和5年3月末現在

委員長	医 局	内沢 隆充	（副院長・医療器材管理室長・医療機器安全管理者）
メンバー	医 局	萩井 譲士	（副院長・医療安全推進室長）
		清野 聡	（副院長・感染対策室長）
看護部		金崎 真紀子	（医療器材管理副室長・看護師長）
		工藤 正弘	（医療安全推進室副室長・看護師長）
		中田 智子	（感染対策室副室長・看護師長）
リハ部		山本 賢雅	（理学療法室長）
事務局		菊池 真	（企画運営課主任）
		今 基	（病院機能評価受審チームリーダー）
		桑田 武人	（企画運営課長代行）

3. 委員会開催記録

回	開催日	内 容
1	令和4年4月28日	4月分の医療機器・消耗品申請について報告。 除細動器（DC）点検実施について報告。 気管切開カニューレ不具合品について報告。 新型コロナウイルス感染拡大に伴う納期遅延品について報告。 飛沫感染予防メガネのリユースタイプ採用について報告。
2	令和4年5月27日	前回承認された医療機器について報告。 5月分の医療機器・消耗品申請について報告。 1、2病棟の生体情報モニタ更新について報告。 飛沫感染予防メガネリユースタイプ進捗状況について報告。
3	令和4年6月23日	前回承認された医療機器について報告。 6月分の医療機器・消耗品申請について報告。 インボディS10（体成分分析装置）スポット点検、バッテリー交換実施について報告。 新規購入の輸液ポンプ操作説明会実施について報告。 ㈱トップ新旧接続チューブ仕様変更について報告。 ㈱メディコンカテゼリー後継品への変更について報告。 飛沫感染予防メガネ7月末までに配布完了予定について報告。 医療消耗品欠品、遅延情報について報告。

4	令和4年7月21日	前回承認された医療機器、消耗品について報告。 7月分の医療機器・消耗品申請について報告。 新機種の輸液ポンプを1、2病棟に各1台設置した事を報告。 飛沫感染予防メガネ配布完了について報告。
5	令和4年8月25日	前回承認された医療機器、消耗品について報告。 8月分の医療機器・消耗品申請について報告。 医療消耗品欠品、出荷調整品について報告。
6	令和4年9月22日	前回承認された医療機器について報告。 電動ベッド次年度購入機器、台数の申請について報告。 血糖測定器定期点検について報告。 経管栄養チューブのインシデント、製品情報について報告。
7	令和4年10月20日	電動ベッドの購入申請について報告。 9月分の医療機器・消耗品申請について報告。
8	令和4年11月24日	前回承認された医療機器について報告。 11月分の医療機器・消耗品申請について報告。 血糖測定器（自己検査用）包装変更について報告。
9	令和4年12月23日	前回承認された医療機器について報告。 12月分の医療機器・消耗品申請について報告。 年末年始の個人防護具、コロナウイルス検査試薬について報告。
10	令和5年1月26日	前回承認された医療機器について報告。 輸液・シリンジポンプ定期点検実施日について報告。 超音波診断装置保守点検実施日について報告。 潤滑ゼリー成分の変更について報告。
11	令和5年2月24日	2月分の医療機器・消耗品申請について報告。 輸液・シリンジポンプ定期点検の結果について報告。 尿自動分析装置故障、購入検討について報告。 人工呼吸器保守点検実施日について報告。 白十字(株)アルコール清拭ワイプの仕様変更について報告。 コーフローフィーディングチューブ販売終了について報告。
12	令和5年3月23日	前回承認された医療機器について報告。 血糖測定器定期点検実施について報告。 手動式除細動器（DC）点検実施について報告。 上肢ロボット型運動訓練装置保守点検について報告。 プラスチックグローブ廃番について報告。 人工呼吸器1台レンタルを行ったことを報告。 入浴装置ロベリア搬入、設置、操作説明会実施日について報告。 令和5年度医療器材管理委員変更について報告。

4. 活動要約

- ・医療器材等新規購入の採否に関して審議。
- ・既採用医療材料等の削除に関して調査・報告・審議。
- ・医療器材等の試用に関して報告・審議。
- ・医療器材等の適正な使用及び安全管理に関して調査・報告・審議。
- ・医療器材等の更新に関して調査・報告・審議。
- ・COVID-19 の影響による物資供給不安定のため、感染対策用消耗品の確保と適正な使用及び安全管理に関して調査・報告・審議。
- ・令和4年度新型コロナウイルス感染症感染拡大・医療提供体制確保支援補助金に関して報告。

感染対策委員会

1. 活動目的

本委員会は、一般財団法人黎明郷 弘前脳卒中・リハビリテーションセンターにおける医療関連感染防止のために、耐性菌検出状況・抗菌薬の使用状況を把握し院内感染対策の業務が適正に遂行されているかを審議することを目的とする。

2. 構成員 ※令和5年3月末現在

委員長	鎌田 孝篤	(病院長)		
メンバー	清野 聡	(副院長・感染対策室長)	萩井 譲士	(副院長)
	樋口 三枝子	(看護部長)	工藤 正弘	(医療安全推進室副室長)
	算用子 暁美	(リハビリテーション部技師長)	中山 登美子	(臨床検査室技師長代行)
	鳥谷部 翔	(薬剤師長)	倉内 寿孝	(主任薬剤師)
	花田 和大	(薬剤師)	古川 栄	(臨床検査技師)
	野沢 正人	(事務部長)	中田 智子	(感染対策室副室長) ※
	村上 朋子	(主任看護師)	飯田 哲子	(看護師)

※院内感染管理者

3. 委員会開催記録

回	開催日	内 容
1	令和4年4月1日 (臨時)	職員より新型コロナウイルス感染症が確認された件について 現在の状況報告 入院患者の移動制限について 新型コロナウイルス感染症の検査キットについて 救急患者の受け入れについて 濃厚接触者の待機期間及び待機期間中の陰性確認による業務 従事について
2	令和4年4月20日	感染情報レポートの検討 抗菌薬・消毒薬使用状況の報告・検討 感染対策室より院内感染状況などの報告 I C Tラウンド状況の報告 新型コロナウイルス感染症について 院内対応について
3	令和4年5月18日	感染情報レポートの検討 抗菌薬・消毒薬使用状況の報告・検討 感染対策室より院内感染状況などの報告 I C Tラウンド状況の報告 新型コロナウイルス感染症について

4	令和4年6月15日	感染情報レポートの検討 抗菌薬・消毒薬使用状況の報告・検討 感染対策室より院内感染状況などの報告 I C Tラウンド状況の報告 新型コロナウイルス感染症について
5	令和4年7月20日	感染情報レポートの検討 抗菌薬・消毒薬使用状況の報告・検討 感染対策室より院内感染状況などの報告 I C Tよりラウンド状況の報告 新型コロナウイルス感染症について
6	令和4年8月17日	感染情報レポートの検討 抗菌薬・消毒薬使用状況の報告・検討 感染対策室より院内感染状況などの報告 I C Tよりラウンド状況の報告 新型コロナウイルス感染症について
7	令和4年9月21日	感染情報レポートの検討 抗菌薬・消毒薬使用状況の報告・検討 感染対策室より院内感染状況などの報告 I C Tよりラウンド状況の報告 新型コロナウイルス感染症について インフルエンザワクチン接種について
8	令和4年10月19日	感染情報レポートの検討 抗菌薬・消毒薬使用状況の報告・検討 感染対策室より院内感染状況などの報告 I C Tよりラウンド状況の報告 新型コロナウイルス感染症について インフルエンザワクチン接種について
9	令和4年11月16日	感染情報レポートの検討 抗菌薬・消毒薬使用状況の報告・検討 感染対策室より院内感染状況などの報告 I C Tよりラウンド状況の報告 新型コロナウイルス感染症について インフルエンザワクチン接種について
10	令和4年12月21日	感染情報レポートの検討 抗菌薬・消毒薬使用状況の報告・検討 感染対策室より院内感染状況などの報告 I C Tよりラウンド状況の報告 新型コロナウイルス感染症について

11	令和 5 年 1 月 18 日	感染情報レポートの検討 抗菌薬・消毒薬使用状況の報告・検討 感染対策室より院内感染状況などの報告 I C T よりラウンド状況の報告 新型コロナウイルス感染症について 結核について
12	令和 5 年 2 月 15 日	感染情報レポートの検討 抗菌薬・消毒薬使用状況の報告・検討 感染対策室より院内感染状況などの報告 I C T よりラウンド状況の報告 新型コロナウイルス感染症について 結核について
13	令和 5 年 3 月 15 日	感染情報レポートの検討 抗菌薬・消毒薬使用状況の報告・検討 感染対策室より院内感染状況などの報告 I C T よりラウンド状況の報告 新型コロナウイルス感染症について

院内感染防止対策研修会

回	開催日	内 容
1	令和 4 年 10 月 8 日 ～ 10 月 31 日	新型コロナウイルスと感染予防策
2	令和 4 年 11 月 11 日～5 年 2 月 17 日	COVID-19 ワクチンとアナフィラキシーショック

4. 活動要約

- ・感染情報レポートの評価・検討

院内感染報告患者と報告細菌数を可視化。

細菌報告後は早期に介入を行い結果も含め報告し、注意点などをフィードバックしている。

委員会で検討・注意喚起を行う事で感染防止に繋がっている。

- ・薬剤室より、抗菌薬・消毒剤使用状況報告

抗菌薬使用状況などから、病棟毎の特殊性を把握し感染症に関する治療や抗菌薬使用を可視化する事で、感染状況や治療に繋げる事が出来ている。

今後は、抗菌薬使用状況から適正使用であるかなども介入する指標作成を行う。

- ・I C T よりラウンド状況報告

院内環境巡視を通し、院内の感染対策実施状況の把握が出来ている。

新型コロナウイルス（COVID-19）感染症の流行に伴い、職員に対し、マスク、アイガードの正しい着用について指導。各部署でマスク、アイガードの装着状況を評価し問題点の改善を図ることが出来た。次年度も継続。

- ・新興感染症に関する感染対策

新型コロナウイルス（COVID-19）感染症の流行に伴い、院内で感染症患者が発生した場合の対応

を検討し、各管理者へシミュレーション指導を行った。医療提供場面において適切な対応ができるように継続して指導していく。

- 院内感染防止対策研修会（年2回）

新型コロナウイルス（COVID-19）感染症の流行を踏まえて必要な研修を実施。感染対策として第1回目は研修会1回あたりの人数を制限し、複数回にわたり集合研修を行い、第2回目はカルテ端末を利用した学習を行った。今後も現場の声を踏まえた研修を行っていく。

栄養管理委員会

1. 活動目的

病院給食が合理的に運営されるために栄養管理委員会を開催し、患者の適正な栄養管理を行い、医療の質の向上を計ることを目的とする。

2. 構成員 ※令和5年3月末現在

委員長	佐々木 都子（内科部長・リハビリテーション部長）		
委 員	世永 壮	（薬剤師）	熊澤 ゆかり（主任臨床検査技師）
	荒谷 真貴	（看護師）	秋元 桃子（看護師）
	鳴海 幸大	（看護師）	秋元 翔太（看護師）
	谷澤 美和	（看護師）	小森 睦美（看護師）
	今井 真子	（看護師）	横濱 岳（看護師長）
	市崎 瑠璃香	（看護師）	小野 真矢子（看護師）
	高阪 理恵	（看護師）	工藤 江理香（看護師）
	成田 理紗	（言語聴覚士）	角田 七海（医事係医事担当）
	鳴海 悦子	（管理栄養士長）	大川 みこと（管理栄養士）
	船水 亜巳	（管理栄養士）	須藤 のどか（管理栄養士）
	小笠原 理紗	（管理栄養士）	
	三橋 義宗	（管理栄養士・日清医療食品）	

3. 委員会開催記録

回	開催日	内 容
1	令和4年4月6日	栄養教室日程 栄養指導件数報告 NST報告 アンケート調査結果報告 新年度の栄養管理委員会・NST委員構成について 行事食について（こどもの日）
2	令和4年5月6日	栄養教室日程 栄養指導件数報告 NST報告 アンケート調査結果報告 春の食事会について 食中毒予防・感染対策について
3	令和4年6月1日	栄養教室日程 栄養指導件数報告 NST報告 アンケート調査結果報告 春の食事会総評

		行事食について（七夕）
4	令和4年7月6日	栄養教室日程 栄養指導件数報告 NST報告 アンケート調査結果報告
5	令和4年8月3日	栄養教室日程 栄養指導件数報告 NST報告 アンケート調査結果報告 衛生管理について
6	令和4年9月7日	栄養教室日程 栄養指導件数報告 NST報告 アンケート調査結果報告 行事食について（敬老の日、十五夜、秋分の日）
7	令和4年10月5日	栄養教室日程 栄養指導件数報告 NST報告 アンケート調査結果報告 秋の食事会総評 備蓄粥について
8	令和4年11月2日	栄養教室日程 栄養指導件数報告 NST報告 アンケート調査結果報告 青森県NST研究会案内 行事食について（クリスマス）
9	令和4年12月7日	栄養教室日程 栄養指導件数報告 NST報告 アンケート調査結果報告 クリスマス食事会総評 行事食について（冬至、大晦日、元旦） 感染症の注意喚起（手洗い、うがい）
10	令和5年1月4日	栄養教室日程 栄養指導件数報告 NST報告 アンケート調査結果報告 クリスマス食事会総評 感染症、食中毒対策の再確認

11	令和5年2月1日	栄養教室日程 栄養指導件数報告 NST報告 アンケート調査結果報告 行事食（節分、バレンタイン） 栄養剤の変更について
12	令和5年3月1日	栄養教室日程 栄養指導件数報告 NST報告 アンケート調査結果報告 行事食について（ひなまつり、春分の日） 次年度の食事会・栄養教室日程 次年度の栄養管理委員会・NSTの委員構成について

【主な行事】

開催日	内 容
令和4年6月1日	春の食事会
令和4年10月5日	秋の食事会
令和4年12月21日	クリスマス食事会

4. 活動要約

- ・食事会や行事食は例年通り実施。
- ・個人栄養指導件数は前年比と同様、集団栄養指導件数は前年比より減少している。

褥瘡対策委員会

1. 活動目的

本委員会は、一般財団法人黎明郷 弘前脳卒中・リハビリテーションセンターにおける院内褥瘡対策を討議・検討し、その効率的な推進を図ることを目的とする。

2. 構成員 ※令和5年3月末現在

委員長	岩田 学	(医局長・副院長代行)	工藤 未稀	(看護師)
副委員長	桑村 美佳	(主任看護師)	齋藤 恵	(看護師)
メンバー	樋口 三枝子	(看護部長)	田川 早苗	(看護師)
	清藤 一輝	(薬剤師)	藤田 絵梨果	(看護師)
	大川 みこと	(管理栄養士)	太田 優枝	(看護師)
	中嶋 秋花	(理学療法士)	渋谷 鮎美	(看護師)
	渡部 清寛	(リハ士長・作業療法士)	梶浦 枝里奈	(看護師)
	菊池 真	(企画運営課主任)	須藤 恵美子	(看護師)
	佐々木 大聖	(企画運営係)	木村 ゆか子	(看護師)
	今 基	(病院機能評価受審チームリーダー)	小笠原 瑞穂	(看護師)
			相馬 真知子	(看護師)
			塩谷 美鈴	(看護師)

3. 委員会開催記録

回	開催日	内 容
1	令和4年4月13日	4月褥瘡患者について報告 エアマット、体位交換枕について報告 3月分のリスク因子の評価について報告 令和4年度診療改定によるテンプレート変更について報告
2	令和4年5月11日	5月褥瘡患者について報告 エアマット、体位交換枕について報告 4月分のリスク因子の評価について報告 5月1日より新テンプレート運用開始について報告
3	令和4年6月8日	6月褥瘡患者について報告 エアマット、体位交換枕について報告 5月分のリスク因子の評価について報告
4	令和3年7月13日	7月褥瘡患者について報告 エアマット、体位交換枕について報告 エアマット1台購入を報告 6月分のリスク因子の評価について報告

5	令和 4 年 8 月 3 日	8 月褥瘡患者について報告 エアマット、体位交換枕について報告 7 月分のリスク因子の評価について報告
6	令和 4 年 9 月 14 日	9 月褥瘡患者について報告 エアマット、体位交換枕について報告 エアマット 1 台購入を報告 8 月分のリスク因子の評価について報告
7	令和 4 年 10 月 12 日	10 月褥瘡患者について報告 エアマット、体位交換枕について報告 9 月分のリスク因子の評価について報告
8	令和 4 年 11 月 19 日	11 月褥瘡患者について報告 エアマット、体位交換枕について報告 10 月分のリスク因子の評価について報告
9	令和 4 年 12 月 14 日	紙上開催（資料配布日 12 月 14 日） 12 月褥瘡患者は配布資料にて報告 12 月褥瘡記録は電子カルテにて各自確認と報告 エアマット、体位交換枕について報告 体位交換枕 3 個破損、破棄について報告 11 月分のリスク因子の評価は配布資料にて報告
10	令和 5 年 1 月 11 日	1 月褥瘡患者について報告 エアマット、体位交換枕について報告 体位交換枕 2 個購入について報告 12 月分のリスク因子の評価について報告 コロナウイルス感染患者の褥瘡対策について感染対策室と確認することを報告
11	令和 5 年 2 月 8 日	2 月褥瘡患者について報告 エアマット、体位交換枕について報告 エアマット 1 台購入を報告 体位交換枕の新規購入について報告 1 月分のリスク因子の評価について報告 コロナウイルス感染患者に対してのエアマットの対応について報告 褥瘡患者拡大の要因について報告 エアマットネクサス R 販売終了について報告
12	令和 5 年 3 月 8 日	3 月褥瘡患者について報告 エアマット、体位交換枕について報告 体位交換枕 2 個破損、破棄について報告 2 月分のリスク因子の評価について報告 体位交換枕新規導入品について報告 来年度褥瘡対策委員会開催日について報告 令和 4 年度褥瘡委員活動の総括について報告

4. 活動要約

- ・ 定例委員会において、各病棟での褥瘡発生状況と治療経過について確認と検討。
- ・ 定例委員会において、エアマット及び体位交換枕等の使用状況について確認。
 - 1) リハスタッフ、栄養士、薬剤師がその専門性を生かし、予防や栄養補助食品、薬剤に関する情報を積極的に提供。
 - 2) 褥瘡に関する学会や研修会への参加を促進。
 - 3) 定例委員会で勉強会を開催。
 - 4) 褥瘡に関する病棟スタッフ間での質問や話し合いが活発になるように、褥瘡対策委員が積極的に啓蒙活動を行う。

臨床検査適正化委員会

1. 活動目的

本委員会は、当院において臨床検査を適正かつ円滑に遂行するための検討を行うことを目的とする。

2. 構成員 ※令和5年3月末現在

委員長	萩井 譲士	(副院長)		
メンバー	鎌田 孝篤	(病院長)	清野 聡	(副院長)
	中山 登美子	(臨床検査技師長代行)	花田 和大	(薬剤師)
	中田 智子	(感染対策室副室長)	工藤 正弘	(医療安全推進室副室長)
	齋藤 理恵	(医事課長)	永井 莉央	(医事係医事担当)

3. 委員会開催記録

回	開催日	内 容
1	令和4年4月20日	TBA120FR(生化学)の点検について コバス Liat(PCR)のバージョンアップについて TBA120FR(生化学)の電池交換について 青臨技サーベイの結果について シーメンス尿定性サーベイの結果について
2	令和4年5月18日	凝集能機械の修理について TBA120FR(生化学)の定期点検実施 Wako サーベイ(便潜血)の結果について
3	令和4年6月15日	ニットーボーサーベイ(CRP、PALB、UALB)の結果について 血小板凝集能検査の修理について i-STAT(血ガス)のバージョンアップについて CLINITEK500(尿定性)について バイオラッド(血液型)の定期検査実施
4	令和4年7月20日	純水装置について 検査システムの不具合について HISCL(免疫)の不具合について 尿定性サーベイの結果について エコー(フィリップス)の定期検査実施
5	令和4年8月17日	予定入院時の採血セットについて CS2500(凝固)の点検実施
6	令和4年9月21日	オージオメータ(聴覚検査)の点検案内について TBA120FR(生化学)の定期検査実施 Wako サーベイ(尿蛋白)の結果について デタミナサーベイ(HbA1c、脂質)の結果について
7	令和4年10月19日	血小板凝集能の標準粒子の生産終了について 12誘導ポータブル心電図のME機器研修会について

		ホルター心電図計の故障について
8	令和4年11月16日	ホルター心電図計について
9	令和4年12月21日	冷却遠心機 KUBOTA2800 で出たエラーについて バイオラッド(血液型)の点検結果について SARS-Cov2A g 測定について 生理検査室の心電計について フィリップス超音波 HD15(頸部エコー)の次回点検について TBA120FR(生化学)の次回点検について
10	令和5年1月18日	冷却遠心機の代替機について
11	令和5年2月15日	フィリップス超音波 HD15(頸部エコー)の定期検査実施 XN-1000(末血)の定期検査実施 シノテストサーベイ (Zn、UIBC)の結果について ニットボーサーベイ (NH3)の結果について 県医師会サーベイの結果について CLINITEK500 のシステムエラーについて
12	令和5年3月15日	HISCL5000(免疫)の機構作動エラーについて 冷却遠心機の点検について TBA120FR(生化学)の定期検査について 日本医師会サーベイの結果について デンカサーベイ (RPR、TPA b)の結果について

3. 活動要約

- ・ 検査データの精度の向上に努める。
- ・ 最新の検査項目の提供。
- ・ 検査機器の保守、新機種を検討。
- ・ 研究活動。
- ・ 治験への参加協力。

薬事審議委員会

1. 活動目的

本委員会は、一般財団法人黎明郷 弘前脳卒中・リハビリテーションセンターにおける医薬品の採用及び削除に関して審議し、医薬品適正使用を目的に活動するものである。

2. 構成員 ※令和5年3月末現在

委員長 馬場 佳子（内科部長・薬剤室長・医薬品情報室長）
委 員 内沢 隆充（副院長）
清野 聡（副院長・医薬品安全管理室長）
藤田 尚子（医薬品情報室副室長）
鳥谷部 翔（薬剤師長・医薬品安全管理室副室長）【事務局】
野沢 正人（事務部長）
齋藤 理恵（医事課長）
今 基 （企画運営課長）

3. 委員会開催記録

回	開催日	内 容
1	令和4年4月11日	規定・委員の確認、 採用申請状況、デッドストック使用動向、 後発医薬品採用割合報告、流通不良品・出荷調整品について
2	令和4年5月9日	採用申請状況、デッドストック使用動向、 後発医薬品採用割合報告、流通不良品・出荷調整品について
3	令和4年6月13日	採用申請状況、デッドストック使用動向、 後発医薬品採用割合報告、 オンデキサ静注用200mgの採用について、 イーケプラ・フェブリクに対する後発品の発売について、 流通不良品・出荷調整品について
4	令和4年7月11日	ノバスタンHI後発品について、 採用申請状況、デッドストック使用動向、 後発医薬品採用割合報告、流通不良品・出荷調整品について
5	令和4年8月8日 （紙上開催）	採用申請状況、デッドストック使用動向、 後発医薬品採用割合報告、流通不良品・出荷調整品について
6	令和4年9月12日	採用申請状況、デッドストック使用動向、 後発医薬品採用割合報告、流通不良品・出荷調整品について

7	令和 4 年 10 月 17 日	採用申請状況、デッドストック使用動向、 後発医薬品採用割合報告、流通不良品・出荷調整品について
8	令和 4 年 11 月 14 日 (紙上開催)	ボトックス注用 50 単位・100 単位の使用上の注意改訂について、 オンデキサ静注用 200 mgの使用上の注意改訂について、 採用申請状況、デッドストック使用動向、 後発医薬品採用割合報告、流通不良品・出荷調整品について
9	令和 4 年 12 月 12 日	ネキシウムカプセル 10 mgの後発品について、 レキサプロ 10 mgの後発品について、 採用申請状況、デッドストック使用動向、 後発医薬品採用割合報告、流通不良品・出荷調整品について
10	令和 5 年 1 月 16 日	採用申請状況、デッドストック使用動向、 後発医薬品採用割合報告、流通不良品・出荷調整品について
11	令和 5 年 2 月 13 日	エンシュアリキッド/バニラ味の販売中止について、 医薬品安定供給を踏まえた診療報酬上の特例措置について、 グラクソスミスクライン製品の流通改善体制について、 イーケプラ点滴静注の使用上の注意改訂について、 フォシーガ錠の使用上の注意改訂について、 オンデキサ静注用 200 mgの流通について、 ゾコーバ 125 mgの採用について、 採用申請状況、デッドストック使用動向、 後発医薬品採用割合報告、流通不良品・出荷調整品について
12	令和 5 年 3 月 13 日	マンニトール製剤について、 日医工青和の社名変更について、 採用申請状況、デッドストック使用動向、 後発医薬品採用割合報告、流通不良品・出荷調整品について

4. 活動要約

- ・事務局である薬剤室薬剤師が各製造販売会社ホームページ、MR 訪問、添付文書やインタビューフォームなどから情報を入手、資料を作成し、薬事審議委員会にて審議する。
- ・県内医療機関の採用状況及び流通を定期的に聴取し評価する。
- ・採用中の先発医薬品の中で、①適応に違いがない、②形状や大きさが先発と似ている、③後発医薬品のみの特徴がある、など変更可能と考えられる医薬品を積極的に後発品に切り替える。
新規採用の場合でも可能であれば後発医薬品とする。
- ・新規採用薬、採用変更及び中止薬を院内に回覧し周知する。
- ・デッドストック情報を毎月共有し不動態在庫にならないようにする。
- ・後発医薬品採用割合を毎月確認する。
- ・問題発生があれば速やかに薬事審議委員会に報告し採用継続の適否を検討する。

診療記録管理委員会

1. 活動目的

診療記録等の診療情報資料及び電子保存システムを適正かつ効率的に管理し、診療情報管理業務並びに電子保存システムの円滑な運営を図ることを目的とする。

2. 構成員 ※令和5年3月末現在

委員長	鎌田 孝篤	(病院長)
委員	内沢 隆充	(副院長)
	鳥谷部 翔	(薬剤師長)
	大川 麻美	(看護師長)
	三浦 康彦	(理学療法副室長・理学療法士)
	小野 公久	(リハ士長・作業療法士)
	川村 隆行	(診療放射線技師長)
	熊澤 ゆかり	(主任臨床検査技師)
	鳴海 悦子	(管理栄養士長)
	立林 修	(事務部次長)
	齋藤 理恵	(医事課長)
	鳴海 佳織	(医事課係長医師補助担当)
	今田 信之	(医事課主任医療情報担当)
	三浦 智靖	(医事課医事係医療情報担当)
	佐々木 哲裕	(医事課係長医事担当)【診療記録管理者】

3. 委員会開催記録

回	開催日	内 容
1	令和4年4月8日	委員会規定の改訂について 退院時サマリ作成状況・カルテ開示報告について カルテ記載における対応について CT オーダ時のコメント選択について テンプレート・マスタ等の更新状況について 電子カルテシステム バージョンアップ及び4月改定作業について ネットワーク設備の更新予定時期について 電子カルテシステムの更新予定時期について
2	令和4年5月6日	退院時サマリ作成状況・カルテ開示報告について テンプレートの改修について 入院前生活状況調査票について テンプレート・マスタ等の更新状況について 新電子カルテシステムについて 各種規定の改訂について
3	令和4年6月3日	退院時サマリ作成状況・カルテ開示報告について テンプレートの一部改修について サイバーセキュリティへの対応について

		テンプレート・マスタ等の更新状況について 薬剤システムのハードウェア更新作業について 患者プロフィール アレルギー食物・薬剤について
4	令和4年7月1日	退院時サマリ作成状況・カルテ開示報告について 適時調査について テンプレート・マスタ等の更新状況について 患者が個人所有している他院医用画像データの取込について 新電子カルテ 追加機能の先行適用について 医療情報システムのバックアップ等に関わる調査報告について
5	令和4年8月5日	退院時サマリ作成状況・カルテ開示報告について テンプレート・マスタ等の更新状況について 画像サーバ 今後の方針について 新電子カルテについて 院内ネットワーク機器の入替作業について(8月分) 電子カルテサーバ バックアップ方法の検討について
6	令和4年9月2日	退院時サマリ作成状況・カルテ開示報告について 文書管理の運用変更について テンプレート・マスタ等の更新状況について 新電子カルテの更新について 院内ネットワーク機器の入替作業について(9月分)
7	令和4年10月7日	退院時サマリ作成状況・カルテ開示報告について 文書管理の運用変更について テンプレート・マスタ等の更新状況について 新電子カルテの稼働について 院内ネットワーク機器の入替作業について(10月分) 会議室等の予約方法変更について サーバ定期再起動について
8	令和4年11月4日	退院時サマリ作成状況・カルテ開示報告について 文書管理の運用変更について テンプレート・マスタ等の更新状況について Windows8.1 サポート終了について 漏電検査について サーバ定期再起動について
9	令和4年12月2日	退院時サマリ作成状況・カルテ開示報告について 文書管理の運用変更について テンプレート・マスタ等の更新状況について サーバ定期再起動について
10	令和5年1月6日	退院時サマリ作成状況・カルテ開示報告について 文書管理の運用変更について テンプレート・マスタ等の更新状況について 電子カルテ 掲示板・ライブラリ機能について サーバ定期再起動について

11	令和5年2月3日	退院時サマリ作成状況・カルテ開示報告について 文書管理の運用変更について 診療記録の点検について(質的監査) テンプレート・マスタ等の更新状況について 電子カルテ 一部機能アップデートについて インターネット利用時の偽セキュリティ警告表示について サーバ定期再起動について
12	令和5年3月3日	退院時サマリ作成状況・カルテ開示報告 文書管理の運用変更について 診療記録の点検について(質的監査) テンプレート・マスタ等の更新状況について 電子カルテ スケジュール機能について サーバ定期再起動について

4. 活動要約

- ・不備があると考えられる診療記録、電子カルテを始め各システム等の問題点について、検討及び提案し改善に努めた。

倫理委員会

1. 活動目的

本委員会は、弘前脳卒中・リハビリテーションセンターにおける医学・医療の倫理的問題について協議するとともに、病院長又は医療部長の諮問を受けて、当院に所属する者が当院において行う医療行為、医学研究及び教育等が医の倫理に関するヘルシンキ宣言等の趣旨に沿って倫理的配慮の下に行われているか審査する。

2. 構成員 ※令和5年3月末現在

委員長 内沢 隆充 (副院長)
メンバー 岩田 学 (医局長・副院長代行)

馬場 佳子 (内科部長)

樋口 三枝子 (看護部長)

【病院外部の学識経験者】

前青森県立保健大学健康科学部理学療法学科

准教授 勘林 秀行

社会保険労務士 石塚 紀子

【事務局】

盛 啓介 (庶務課係長)

田中 結菜 (庶務課主任)

外崎 春香 (医学研究室)

3. 活動記録

A 審議あり (変更申請を除く新規申請のみ表示)

承認日	研究名	申請者
令和4年6月6日	脳卒中患者における予測的姿勢調節に関連する評価指標の活用性に関する検討	看護師 岡崎 聡子
令和4年6月15日	脳卒中患者の再発防止における生活習慣に関する調査	看護師 高橋 里美
令和4年6月30日	HISCLONT-proBNP 試薬の心原性脳塞栓症におけるカットオフ値等についての研究※変更申請	副院長 萩井 譲士
令和4年7月1日	脳卒中片麻痺患者におけるペダリング運動に歩行神経筋電気刺激装置ウォークエイドを併用した即時効果の検証	理学療法士 鈴木 遼
令和4年7月1日	加速度センサを用いた床上免荷歩行の解析	理学療法士 齋藤 和樹
令和4年7月5日	尿意の無い脳卒中患者への尿意再獲得に向けた介入の効果 ～非侵襲性の膀胱用超音波画像診断装置を用いて排尿誘導を実施した結果～	看護師 矢野 享

承認日	研究名	申請者
令和 4 年 7 月 29 日	高次脳機能障害の患者のADL自立に向けた看護ケアの検討	看護師 川村 紘子
令和 4 年 8 月 4 日 変更申請 令和 5 年 2 月 15 日	離床センサーを使用している患者の行動・認識調査	看護師 寺地恵子
令和 4 年 9 月 29 日	排泄ケアに対する看護師の意識改革を目指して～フローシートを活用した取り組み～	看護師 工藤 優花
令和 4 年 11 月 1 日	頭蓋内出血を発症した心房細動患者の早期抗凝固療法に関する安全性及び有効性の検討 ※変更申請	副院長 萩井 譲士
令和 4 年 10 月 31 日	トレッドミル上後進歩行速度の知覚に関する検討	理学療法士 田口 惇
令和 5 年 3 月 13 日	頭蓋内出血を発症した心房細動患者の早期抗凝固療法に関する安全性及び有効性の検討 ※変更申請	副院長 萩井 譲士

B 審議を必要としないもの（委員長決裁）

承認日	研究名	申請者
令和 4 年 6 月 8 日	津軽地方における高血圧合併脳卒中患者の年齢分布からみた介入課題	内科副部長 白戸 弘志
令和 4 年 6 月 20 日	腎機能と心原性脳塞栓症における重症度および予後についての検討	医員 酒井 峻太郎
令和 4 年 10 月 26 日	脳空気塞栓症の急性期画像変化：ケースレポート	医員 山崎 堅
令和 4 年 11 月 16 日	当院における更生用装具作製の傾向	理学療法士 山本 賢雅
令和 5 年 2 月 7 日	当院の医療従事者を対象にした新型コロナウイルスワクチン接種における意識調査、副反応調査	看護師 中田智子
令和 5 年 2 月 15 日	急性期脳卒中患者における塩分チェックシートと推定一日食塩摂取量との関連	内科副部長 白戸 弘志
令和 5 年 2 月 20 日	抗菌薬適正使用支援活動と長期的に見た抗菌薬使用動向	薬剤師 花田 和大
令和 5 年 2 月 28 日	発症時点におけるサルコペニアが発症 4 週時・8 週時のバランス能力及び歩行能力に与える影響	理学療法士 三上 菜月

4. 活動要約

- ・倫理審査は、紙上にて実施し、各委員が審査の上、必要に応じて申請者へ質問、指摘を行った。
また、不備な点については、修正、追加の上再申請を求めた上で再審査した。

- ・令和4年度 新規研究申請件数

審議あり：12 件、審議なし（委員長決裁）：8 件

※申請された研究はすべて承認

衛生委員会

1. 活動目的

衛生委員会の構成、運営、調査審議事項などを定め、衛生管理活動の円滑な推進を図ることを目的とする。

2. 構成員 ※令和5年3月末現在

委員長	鎌田 孝篤	(病院長)
	高橋 広希	(内科部長・産業医)
	清野 聡	(副院長・衛生管理者)
	野沢 正人	(事務部長)
	樋口 三枝子	(看護部長)
	川村 隆行	(診療放射線技師長)
	算用子 暁美	(リハビリテーション部技師長・作業療法士)
	山本 賢雅	(理学療法室長)
	中田 智子	(感染対策室副室長)
	佐々木 俊	(庶務課主任代行)
	立林 修	(事務部次長・庶務課長代行) 【事務局】

3. 委員会開催記録

回	開催日	内 容
1	令和4年4月27日	感染症罹患状況、労災事故（昨年度件数、過年度推移）について 新型コロナウイルス関連就労制限者等について 春の健康診断実施について メンタルヘルスケア（こころの相談利用等）について 産業医の巡回（医学研究室、物品管理室、ごみ収集庫、不潔リネン庫）他について 前月の時間外労働（長時間労働者）の状況について
2	令和4年5月25日	感染症罹患状況、労災事故について 新型コロナウイルス関連就労制限者等について 春の健康診断実施について メンタルヘルスケア（こころの相談利用等）について 産業医の巡回（臨床検査室、生理検査室、放射線室）他について 前月の時間外労働（長時間労働者）の状況について
3	令和4年6月29日	感染症罹患状況、労災事故について メンタルヘルスケア（こころの相談利用等）について 春の健康診断の実施状況について 産業医の巡回（医局、薬剤室、D I 室）他について 前月の時間外労働（長時間労働者）の状況について 栄養室換気対策結果について

4	令和 4 年 7 月 27 日	感染症罹患状況、労災事故について 新型コロナウイルス関連就労制限者等について メンタルヘルスケア（こころの相談利用等）について 前月の時間外労働（長時間労働者）の状況について
5	令和 4 年 8 月 31 日	感染症罹患状況、労災事故について 新型コロナウイルス関連就労制限者等について メンタルヘルスケア（こころの相談利用、研修）について 産業医の巡回（7 月：栄養室、厨房、事務室、相談室／8 月：施設管理課、ボイラー室・機械室、屋上）について 前月の時間外労働（長時間労働者）の状況について
6	令和 4 年 9 月 28 日	感染症罹患状況、労災事故について 新型コロナウイルス関連就労制限者等について メンタルヘルスケア（こころの相談利用、研修）について 産業医の巡回（5 病棟、感染対策室）について 前月の時間外労働（長時間労働者）の状況について
7	令和 4 年 10 月 26 日	感染症罹患状況、労災事故について 新型コロナウイルス関連就労制限者等について メンタルヘルスケア（こころの相談利用）、研修受講数について 秋の職員健診、ストレスチェックについて 産業医の巡回（1 病棟）について 前月の時間外労働（長時間労働者）の状況について
8	令和 4 年 11 月 30 日	感染症罹患状況、労災事故について 新型コロナウイルス関連就労制限者等について メンタルヘルスケア（こころの相談利用等）について 秋の職員健診、ストレスチェック実施状況について 前月の時間外労働（長時間労働者）の状況について
9	令和 4 年 12 月 28 日	感染症罹患状況、労災事故について 新型コロナウイルス関連就労制限者等について メンタルヘルスケア（こころの相談利用等）について 秋の職員健診、ストレスチェック実施状況について 産業医の巡回（4 病棟）について 前月の時間外労働（長時間労働者）の状況について
10	令和 5 年 1 月 25 日	感染症罹患状況、労災事故について 新型コロナウイルス関連就労制限者等について メンタルヘルスケア（こころの相談利用等）について 秋の職員健診、ストレスチェック実施結果について 産業医の巡回（3 病棟）について 前月の時間外労働（長時間労働者）の状況について
11	令和 5 年 2 月 22 日	感染症罹患状況、労災事故について 新型コロナウイルス関連就労制限者等について メンタルヘルスケア（こころの相談利用等）について

		秋の職員健診の結果報告、放射線被ばく線量状況について 産業医の巡回（2病棟）について 前月の時間外労働（長時間労働者）の状況について
12	令和 5 年 3 月 29 日	感染症罹患状況、労災事故について 新型コロナウイルス関連就労制限者等について 職員健診（春、秋結果まとめ）、メンタルヘルスケア（こころの相談利用）について 産業医の巡回（外来、内視鏡室、超音波室、居宅・訪問・地域連携室、1階リハ室、歯科）について 前月の時間外労働（長時間労働者）の状況について

4. 活動要約

- ・事業者側と雇用者側からの委員構成で職場環境の点検と対策について検討した。
- ・感染症罹患状況、新型コロナウイルス関連の就労制限について把握。
- ・前年度に引き続き、冬の路面凍結による転倒事故防止対策として、職員通用口付近に融雪および電気マットを敷き、注意喚起の回覧、掲示を実施した。また弘前労働基準監督署主催の「冬期における労働災害防止対策等説明会」に参加した。
- ・栄養室の換気対策実施し、CO2濃度を測定（5/31～6/7）したところ、換気基準（1000ppm）超過はなかった。
- ・労災事故件数 打撲・捻挫 2 件、患者行為による受傷 5 件、針刺し 2 件、その他 3 件と昨年度より件数は増加した。患者行為による受傷は昨年の 0 件から大幅に増加した。一昨年は 7 件であった。
- ・産業医の巡回による職場環境の点検および指摘事項の検討をした。
- ・放射線被ばく防止の対応、健康管理についての現況報告は、対象者全員 線量限度内。
- ・健康診断で所見のあった職員へのフォローアップをした。
春の受診者数 176 名、指示人数 14 名（8.0%）
秋の受診者数 447 名、指示人数 36 名（8.1%）
- ・時間外労働（長時間労働者）については、月 80 時間超の該当者が令和 4 年 8 月に 1 名、12 月に 1 名あり。一時的な業務量増加によるものとの理由で、当該職員より産業医による医師面談を希望しない旨の申し出があり、面談実施なし。
- ・メンタルヘルスケアについて年 1 回の研修会の実施
新型コロナウイルスの感染対策のため、資料による学習研修とした。
厚労省 15 分でわかる認知行動変容アプローチ（PDF）を活用→受講完了 405 名
- ・ストレスチェックの実施の結果：受検率 98.0%、受験者に占める高ストレス判定者の割合 16.3%

部署代表者委員会

1. 活動目的

本委員会は、当財団が少しでも働きやすい環境となるよう、就業規則等の作成・変更にあたっての意見や要望を職員から聴取・集約した上で、財団との交渉や、財団が必要とする意見交換に応じ、法令で定められた書面による財団との協定の締結・変更及び解約を行うことを目的とする。

2. 構成員 ※令和5年3月末現在

委員長	診療部代表	川村 隆行	(診療放射線技師長)
メンバー	医局代表	白戸 弘志	(内科副部長)
	看護部代表	橋本 祐樹	(看護主任)
		佐藤 純子	(看護主任代行)
	リハビリテーション部代表	齋藤 曜子	(リハ主任代行・作業療法士)
		荒谷 光太郎	(理学療法士)
	事務部代表	飯塚 聖貴	(施設管理課係長代行)

3. 委員会開催記録

回	日付	内 容
1	令和4年4月18日	就業規則等の一部改正について意見を文書で提出するよう財団より委員会へ依頼あり⇒委員会から異議なし
2	令和4年6月13日	委員長が職員代表者として適任であるか各部署に確認するための書面を回覧した
3	令和4年6月27日	6月13日付で回覧した書面を回収・確認した結果、過半数以上の職員から賛同を得られたことを各部署へ文書にて報告した
4	令和4年10月6日	就業規則等の一部改正について意見を文書で提出するよう財団より委員会へ依頼あり⇒委員会から異議なし
5	令和4年10月17日	診療報酬改定に伴い、10月から新設の「看護職員処遇改善評価料」の取り扱いについての協定書を財団と締結した
6	令和5年3月24日	令和5年度の時間外労働及び休日労働に関する労使協定書を財団と締結した

4. 活動要約

令和4年度から1年間で取得できる年次有給休暇は最大で40日となった。また、育児・介護休業法の改正により、今までよりも円滑に育児・介護休業を取得できるようになり、休業期間終了後の職場復帰支援体制も整えられた。

令和4年10月からの診療報酬改定に伴い、「看護職員処遇改善評価料」により支払われる賃金の名称を「看護職員等処遇改善手当1」と「看護職員等処遇改善手当2」とし、手当の支給対象者の範囲が広がったため、少しでもコロナ関連等での業務負担軽減につなげていきたい。

委員会としては少しずつでも働き方改革ができるよう検討していくが、職員の皆様に意見箱を活用して頂いて得られた意見・要望等を参考に労働環境の整備を計画・実行していきたいと考えている。

教育研修委員会

1. 活動目的

本委員会は、一般財団法人黎明郷 弘前脳卒中・リハビリテーションセンターにおける職員の学習を奨励し、①職業人として自己を研鑽する姿勢を身につける、②医療人として患者のために奉仕する心を学ぶ、③プロフェッショナルとして個々の知識、スキルを高めるための支援、及び環境調整をするものである。

2. 構成員 ※令和5年3月末現在

委員長	馬場 佳子	(内科部長)	
副委員長	小田桐 千代	(副看護部長)	
メンバー	鳥谷部 翔	(薬剤師長)	熊澤 ゆかり (主任臨床検査技師)
	川村 隆行	(診療放射線技師長)	鳴海 悦子 (管理栄養士長)
	大川 麻美	(看護師長)	長谷川 国俊 (理学療法副アドバイザー)
	木村 勇貴	(リハ主任代行・作業療法士)	盛 亨子 (言語聴覚室長・言語聴覚士)
	宇佐美 夏希	(医療相談員)	齋藤 佑夏子 (医療相談員)
	奈良 麻里	(医事課主任医師補助担当)	澤田 栞奈 (財務経理課主任)

3. 委員会開催記録

回	開催日	内 容
1	令和4年4月22日	看護部・リハ部の教育研修計画について他
2	令和4年5月27日	紙上開催 (研修旅費の執行状況報告)
3	令和4年6月24日	紙上開催 (研修旅費の執行状況報告)
4	令和4年7月22日	紙上開催 (研修旅費の執行状況報告)
5	令和4年8月26日	紙上開催 (研修旅費の執行状況報告)
6	令和4年9月22日	紙上開催 (研修旅費の執行状況報告)
7	令和4年10月28日	紙上開催 (研修旅費の執行状況報告)
8	令和4年11月25日	紙上開催 (来年度の戦略的人材育成費依頼)
9	令和4年12月23日	紙上開催 (来年度の学会研修旅費予算案について、来年度の戦略的人材育成費決定の報告)
10	令和5年1月27日	紙上開催 (研修旅費の執行状況報告)
11	令和5年2月24日	紙上開催 (研修旅費の執行状況報告)
12	令和5年3月24日	紙上開催 (研修旅費の執行状況報告)

4. 活動要約

- ・出張旅費と学術助成の計画と執行状況の確認をした。
- ・戦略的人材育成費の内容と学会研修旅費の予算を検討し、決定した。
- ・メディカルスタッフ勉強会・施設間勉強会は新型コロナウイルスの状況により中止となった。
- ・新型コロナウイルスの影響により、主だった活動が出来なかった。

施設運用委員会

1. 活動目的

弘前脳卒中・リハビリテーションセンター(以下「センター」という。)における施設運用についての意見及び要望について検討し、その適正化を図ることを目的とする。

2. 構成員 ※令和5年3月末現在

委員長 清野 聡 (副院長)
 メンバー 樋口 三枝子 (看護部長)
 算用子 暁美 (リハビリテーション部技師長)
 川村 隆行 (診療放射線技師長)
 野沢 正人 (事務部長)
 工藤 博人 (施設管理課長)

3. 委員会開催記録

回	開催日	内 容
1	令和4年4月7日	点検表の配布について 2021年度総括 他
2	令和4年5月12日	【紙上会議】 CO2濃度測定(厨房事務室、1F休憩室) 他
3	令和4年6月2日	点検表について審議検討した アトリウム階段の通行制限 他
4	令和4年7月7日	点検表について審議検討した 備蓄用保存水の更新、外来北側トイレのサイン検討 他
5	令和4年8月4日	【紙上会議】 部屋の点検表について審議検討した 3・4病棟 プロジェクター用遮光スクリーンの設置、CO2濃度測定(臨床検査室、2・3・4病棟仮眠室、看護当直室) 他
6	令和4年9月1日	点検表について審議検討した 3・4病棟 配薬スペースにPHS増設 他
7	令和4年10月7日	今年度2回目の点検表配布について エキスパンションジョイントの調整、外来ST室前廊下ロールスクリーン移設、空調(ACP-6系統)更新工事 他
8	令和5年1月5日	点検表について審議検討した 機密文書の廃棄、漏電検査・受電設備更新工事、電動ベッド(20台)更新 他
9	令和5年3月2日	点検表について審議検討した 外壁調査の結果、空調(ACP-13系統)更新工事 他

※11月、12月、2月は開催なし。

4. 活動要約

- ・アトリウム階段の通行制限
- ・1 病棟(SCU①②) 鏡の劣化(交換)
- ・備蓄用保存水の更新
- ・外来北側トイレのサイン検討
- ・3、4 病棟 プロジェクター用遮光スクリーンの設置
- ・3、4 病棟 配薬スペースに PHS 増設
- ・機密文書の廃棄
- ・1 病棟(観察室) 専用のパーテーションと酸素ボンベ収納ラック購入
- ・MRI 用ストレッチャーの更新検討
- ・エキスパンションジョイントの調整
- ・1F 外来 ST 室前廊下 ロールスクリーンの移設
- ・漏電検査、受電設備更新工事
- ・電動ベッド(20 台)更新
- ・外壁診断調査
- ・空調設備の更新工事(EHP、ACP-6 系統)
- ・空調設備の更新工事(EHP、ACP-13 系統)
- ・CO2 濃度測定
(1 病棟カンファレンス室、1 病棟スタッフ室、感染対策室、大会議室 A・B、厨房事務室、1F 休憩室、
技師控室、臨床検査室、2・3・4 病棟仮眠室、看護当直室、事務室(医事課・庶務課)、
守衛室および当直室)

広報委員会

1. 活動目的

弘前脳卒中・リハビリテーションセンター(以下「センター」という。)の医療情報の広報を的確に推進するため、センターに広報委員会（以下「委員会」という。）を置く。

2. 構成員 ※令和5年3月末現在

委員長 佐々木 都子（内科部長）
メンバー 樋口 三枝子（看護部長）
算用子 暁美（リハビリテーション部技師長）
鳥谷部 翔（薬剤師長）
盛 啓介（庶務課係長）
田中 結菜（庶務課主任）

3. 委員会開催記録

回	開催日	内 容
1	令和4年5月30日	・ R4. 4. 4 新ホームページ公開 ・ ホームページ用写真撮影の時期検討 ・ 部署紹介更新 ・ 専門医の掲載 ・ 年報作成
2	令和4年7月15日 (紙上開催)	・ 年報など前回からの進捗報告 ・ ホームページの内部的なセキュリティの強化の報告
3	令和4年9月16日	・ ホームページ写真の入れ替え報告
4	令和4年11月 (紙上報告)	・ ホームページ更新内容の報告
5	令和5年1月 (紙上報告)	・ ホームページ更新内容の報告
6	令和5年3月 (紙上報告)	・ ホームページ更新内容の報告

4. 活動要約

- ・ 4月から新ホームページが稼働し、種々の修正を行った。
- ・ 年報第9号（令和3年度）が完成し、12月にホームページ上で公開した。

患者サービス委員会

1. 活動目的

本委員会は、各部門が連携協調を図り、業務の円滑な処理および効率性を確保することにより、病院を利用する患者および患者の家族等（以下患者等）へのサービス向上に資することを目的とする。

（内容）①患者等への対応サービスの向上に関する事。②患者等の院内活動にかかるサービス向上に関する事。③患者等からの苦情・意見の収集および対応に関する事。④ボランティアの受け入れおよび活動内容に関する事。⑤その他の医療サービスに関する事。

構成員 ※令和5年3月末現在

委員長	萩井 譲士（副院長）	
副委員長	佐藤 奈奈（看護師長）	佐々木 拜子（リハ主任・作業療法士）
アドバイザー	野沢 正人（事務部長）	
委員	工藤 正弘（医療安全推進室副室長）	関 晃治郎（診療放射線技師）
	鳴海 悦子（栄養士長）	漆沢 修治（看護主任代行）
	橋本 祐樹（看護主任代行）	中田 舞子（看護師）
	小田桐 史典（看護師）	吉田 美奈（看護主任）
	工藤 夏美（看護主任）	小山 裕美（リハ主任代行・理学療法士）
	福山 美佳（リハ主任・言語聴覚士）	成田 笑美（医療相談員）
	葛西 志保（医事課主任）	前田 一成（財務経理課）

2. 活動記録

回	開催日	内容
1	令和4年4月21日	3月分退院時患者アンケート調査結果の報告 令和4年度規約・委員・活動予定の確認
2	令和4年5月19日	4月分退院時患者アンケート調査結果の報告 接遇研修の実施に関する確認 患者アンケート投函ポストの設置、アンケート記載内容の変更の連絡
3	令和4年6月16日	5月分退院時患者アンケート調査結果の報告 ゴミ拾い、接遇研修の日程等の確認
4	令和4年7月21日	6月分退院時患者アンケート調査結果の報告 活動報告（ゴミ拾い、七夕） 接遇研修の日程等の確認
5	令和4年8月18日	7月分退院時患者アンケート調査結果の報告 接遇研修の延期について
6	令和4年9月15日	※紙上開催 8月分退院時患者アンケート調査結果の報告
7	令和4年10月20日	9月分退院時患者アンケート調査結果の報告 接遇研修（今年度採用者・中途採用者）の日程等の確認

8	令和4年11月17日	10月分退院時患者アンケート調査結果の報告 活動報告（接遇研修） クリスマスツリーの設置について 各病棟へ監視カメラの設置について
9	令和4年12月15日	※紙上開催 11月分退院時患者アンケート調査結果の報告 クリスマスツリーの撤去について
10	令和5年1月19日	※紙上開催 12月分退院時患者アンケート調査結果の報告
11	令和5年2月16日	1月分退院時患者アンケート調査結果の報告 令和5年度委員の選出について 床屋予約時の注意事項 カレンダーの更新連絡
12	令和5年3月16日	2月分退院時患者アンケート調査結果の報告 令和4年度評価、令和5年度委員の決定について

3. 活動要約

【主な行事】

開催日	内容
令和4年6～7月	七夕飾りの設置・片づけ
令和4年7月8日	清掃活動（ゴミ拾い） 参加者：35名
令和4年11月1日～15日	接遇研修（eラーニングビデオ研修） テーマ：「接遇マナーの基本「あいさつ」で変わるおもてなしの心（約29分）」 参加者：37名（今年度入職者 ※中途採用者含む）
令和4年11～12月	クリスマスツリー飾りの設置・片づけ
令和5年2月	接遇研修（医師向けDVD） 参加者：13名

【退院時患者アンケート（患者等からのご意見）】 ※別添参照

アンケート回答回収率 年間：20.3%

ご意見・ご不満の内容

- ・食事について（味付け、メニュー、量 等）
- ・医師・看護師他について（接遇・言葉遣い、説明不足、対応の遅さ 等）
- ・環境・設備について（室温・照明、トイレ環境、換気扇の騒音 等）
- ・その他：監視カメラ設置について、面会の実施について
患者・ご家族の物品の取り扱いについて

【総括】

- ・計画した行事について接遇研修以外は予定通り実施できた。
⇒接遇研修はコロナによる感染拡大の影響で延期になった為、来年度は講師を招いて対面で実施できるように取り組みたい。
- ・面会制限下で退院時患者アンケートの回収率が低かった為、協力いただけるよう患者・家族への声掛け、また投函しやすい場所にポストを新設する等、積極的に対応した。
- ・ご意見・ご不満に関して、真摯に受け止め、原因・状況を確認し再発防止に努め、サービス向上につなげた。
- ・環境・設備等に関して、施設管理部門と連携し解決を図り、安心安全な環境づくりに努めた。

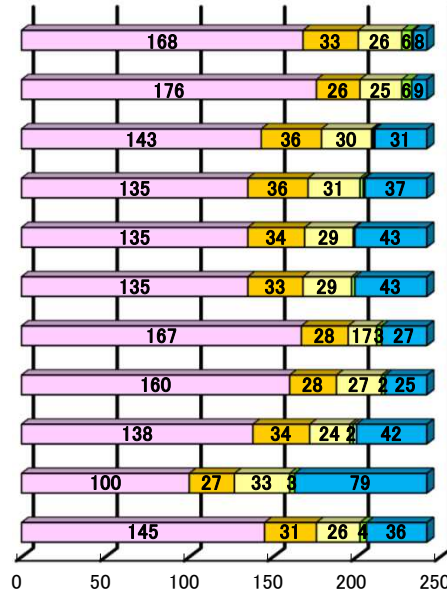
退院時患者様へのアンケート調査結果 令和4年度 令和4年4月1日～令和5年3月31日

(年間集計)

(・回答者数: 242名 ・退院患者数: 1193名 ・回収率: 20.3%)

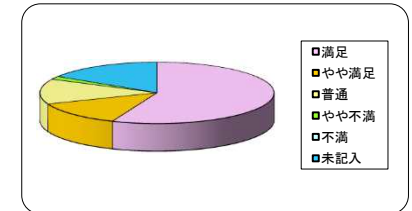
Q1. スタッフの対応サービスはどうか？

	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	未記入	計
医師	168	33	26	6	1	8	242
	69.4%	13.6%	10.7%	2.5%	0.4%	3.3%	100.0%
看護師	176	26	25	6	0	9	242
	72.7%	10.7%	10.3%	2.5%	0.0%	3.7%	100.0%
病院受付	143	36	30	1	1	31	242
	59.1%	14.9%	12.4%	0.4%	0.4%	12.8%	100.0%
薬剤師	135	36	31	2	1	37	242
	55.8%	14.9%	12.8%	0.8%	0.4%	15.3%	100.0%
放射線技師	135	34	29	1	0	43	242
	55.8%	14.0%	12.0%	0.4%	0.0%	17.8%	100.0%
検査技師	135	33	29	2	0	43	242
	55.8%	13.6%	12.0%	4.7%	0.0%	17.8%	103.8%
訓練スタッフ	167	28	17	3	0	27	242
	69.0%	11.6%	7.0%	1.2%	0.0%	11.2%	100.0%
医療相談員	160	28	27	2	0	25	242
	66.1%	11.6%	11.2%	0.8%	0.0%	10.3%	100.0%
栄養士	138	34	24	2	2	42	242
	57.0%	14.0%	9.9%	0.8%	0.8%	17.4%	100.0%
売店スタッフ	100	27	33	3	0	79	242
	41.3%	11.2%	13.6%	1.2%	0.0%	32.6%	100.0%
清掃スタッフ	145	31	26	4	0	36	242
	59.9%	12.8%	10.7%	1.7%	0.0%	14.9%	100.0%

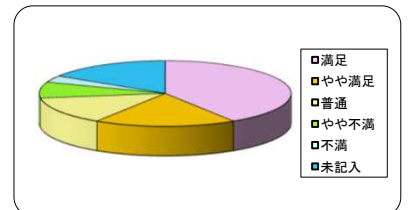


Q3. 食事の満足度について(治療食)

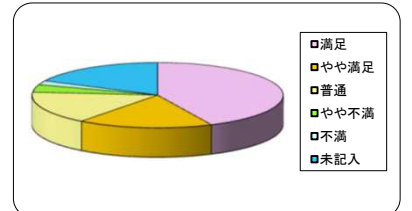
温度	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	未記入
1 満足	136					
2 やや満足	31					
3 普通	32					
4 やや不満	4					
5 不満	0					
6 未記入	39					
計	242					



味付け	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	未記入
1 満足	99					
2 やや満足	44					
3 普通	33					
4 やや不満	19					
5 不満	8					
6 未記入	39					
計	242					

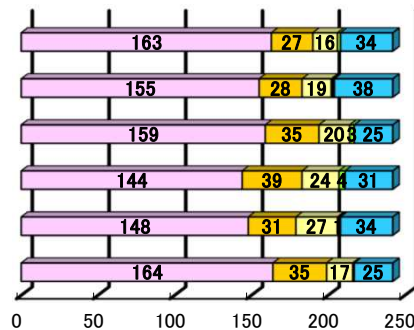


量	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	未記入
1 満足	104					
2 やや満足	42					
3 普通	39					
4 やや不満	9					
5 不満	5					
6 未記入	43					
計	242					



Q2. 当院の設備について

	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	未記入	計
リハビリ施設	163	27	16	2	0	34	242
	67.4%	11.2%	6.6%	0.8%	0.0%	14.0%	100.0%
入浴設備	155	28	19	1	1	38	242
	64.0%	11.6%	7.9%	0.4%	0.4%	15.7%	100.0%
トイレの清潔	159	35	20	3	0	25	242
	65.7%	14.5%	8.3%	1.2%	0.0%	10.3%	100.0%
冷暖房設備	144	39	24	4	0	31	242
	59.5%	16.1%	9.9%	1.7%	0.0%	12.8%	100.0%
室内環境 (広さ、照明)	148	31	27	1	1	34	242
	61.2%	12.8%	11.2%	0.4%	0.4%	14.0%	100.0%
院内の清潔	164	35	17	1	0	25	242
	67.8%	14.5%	7.0%	0.4%	0.0%	10.3%	100.0%



レクリエーション委員会

1. 活動目的

本会は、一般財団法人黎明郷 職員間の交流を通じ、労働力の確保・定着・勤労意欲・能率の向上などの効果をもたらすことを目的とし、以下の活動をする。

- ・財団新入職員歓迎会に関する事。
- ・財団忘年会に関する事。
- ・ボウリング大会に関する事。
- ・その他、レクリエーション活動に関する事。

2. 構成員 ※令和5年3月末現在

委員長	医 局	清野 聡	(副院長)
メンバー	診療放射線室	川村 隆行	(診療放射線技師長)
	栄養室	須藤 のどか	(管理栄養士)
	外 来	工藤 江里香	(看護師)
	1 病棟	佐々木 有沙	(看護師)
	2 病棟	野呂 拓夢	(看護師)
	3 病棟	古川 優希	(理学療法士)
	4 病棟	工藤 夕花	(看護師)
	5 病棟	西澤 諒	(理学療法士)
	事務部	菊池 あづさ	(庶務課主任)
	事務部	佐々木 静	(財務経理係)

3. 委員会開催記録

回	開催日	内 容
1	令和 4 年 4 月 11 日	新入職員歓迎会中止決定
2	令和 5 年 1 月 16 日	職員還元企画「お家 de!! 家族 de!! プチ贅沢!!」について
3	令和 5 年 3 月 13 日	職員還元企画の報告

4. 活動要約

今年度も新型コロナウイルス感染症の影響による職員の安全を考慮した結果、新入職員歓迎会を始めとした企画・運営活動が中止となった。

昨年と同様に職員還元企画を立案し、1 回実施した。

今後も状況に合わせた対応を確認しながら、レクリエーション委員会としての活動を模索していく。

令和6年3月1日発行

【編集】弘前脳卒中・リハビリテーションセンター 広報委員会

委員長	佐々木 都 子（内科部長）
委 員	樋 口 三枝子（看護部長）
	算用子 暁 美（リハビリテーション部技師長）
	鳥谷部 翔 （薬剤師長）
	盛 啓 介（庶務課係長）
	佐々木 俊 （庶務課主任代行）